

岡山県学校図書館研究集録

第 57 号

令和2年

— 2020 —

岡山県小学校教育研究会情報教育部会学校図書館部
岡山県中学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県学校図書館協議会

発刊によせて

岡山県学校図書館協議会

会長 鳥越 信行

各学校におかれましては、図書館の魅力増進や児童・生徒の読書指導の推進等に御尽力いただくとともに、本協議会の取組への御支援・御協力を賜り心より感謝申し上げます。今年度は、コロナ禍の厳しい状況の中ではありますが、本部会の皆様の積極的な研究実践と御協力に支えられ、安全に配慮しながら可能な範囲で事業を展開してまいりました。

そして、このたびその活動記録として、「岡山県学校図書館研究集録第57号」を発刊する運びとなりました。平成26年度までは、印刷製本してまとめていましたが、経費節減のため平成27年度からはホームページに掲載し、公開させていただいております。

さて、グローバル化し、AI化していく変化の激しい社会の中で、未来を担う子どもたちに求められる資質・能力は、主体的に問題を発見・解決し、協働しながら新しいものを創造していく力であり、その資質・能力を育てるのが探究学習であると考えられています。そして、新学習指導要領では、必修科目である「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」と名称変更されるなど、「探究」がキーワードとなっています。

ご存じのように、学校図書館には、「読書センター」の機能に加えて「学習センター」「情報センター」の機能があります。近年、図書や新聞などのアナログ情報だけでなく、インターネットなどのデジタル情報も扱い、多様なメディアを備える学校図書館は、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、協働的な問題解決学習を支援できる「学習・情報センター」として、大きな期待が寄せられています。

さらに、そのような力を育むためには、校内のみならず校種を越えて段階的に指導を積み重ねることが必要だと言われていています。児童・生徒が発達段階に応じた形で読書活動や図書館を活用した学習に主体的に関わったり参加したりできるよう、学校図書館に携わるもの同士がさまざまな面で協働・連携し、その環境を整えていくことが大切です。今後も学校図書館の充実に、御理解・御協力をいただけますと幸いです。

最後になりましたが、この研究集録を発刊するにあたり、多大な御尽力・御協力をいただきました関係者に厚く感謝申し上げます、巻頭のあいさつといたします。

目 次

発刊によせて

第66回青少年読書感想文岡山県コンクール……………1-1～15

第32回読書感想画岡山県コンクール……………2-1～5

絵本研究部会……………3-1～5

優良図書研究部会……………4-1～9

指定図書選定委員会……………5-1～2

司書部会……………5-1～3

その他

- 1 令和2年度 岡山県学校図書館協議会 事業報告……………6-1
- 2 令和2年度 岡山県学校図書館協議会 支部協議会事業報告 ……6-2-1～5
- 3 岡山県学校図書館協議会組織図……………6-3
- 4 岡山県学校図書館協議会規約……………6-4-1～2
- 5 岡山県学校図書館協議会司書部会会則……………6-5
- 6 岡山県学校図書館協議会70年の歩み（略年表）……………6-6-1～6

第66回読書感想文岡山県コンクール

I 日 程

- 6月18日(木) 応募要項配布
第1回支部事務局長会議席上
- 10月1日(木) 応募締め切り(必着)
応募先・事務局
*小・中・・・岡山市立香和中学校
笹野 恭代
*高校・・・岡山県立倉敷青陵高等学校
王尾 宏造
- 10月8日(木) 第1回合同審査会
～
《審査期間》
- 10月22日(木) 第2回審査会(最終審査)
〈小学校・中学校・高等学校 校種別〉
- 12月10日(木) 表彰式

II 県審査員

審査委員長 (SLA 会長)

鳥越 信行 岡山県立倉敷南高等学校

審査副委員長 (SLA 副会長)

森 淳 岡山市立岡南小学校

青木 伸晃 岡山市立操南中学校

審査委員

熊代 正人 岡山市立野谷小学校

安原 彩恵 岡山市立野谷小学校

大角 美奈 岡山市立桃丘小学校

松田 裕子 岡山市立御南小学校

平野 美帆 私立就実小学校

八田八寿子 岡山市立旭東小学校

中井 教代 岡山市立雄神小学校

西崎 久 岡山市立雄神小学校

藤谷 望 岡山市立妹尾小学校

片山 実季 赤磐市立山陽東小学校

田岡 香澄 備前市立東鶴山小学校

東 真穂 備前市立伊部小学校

溝口 篤 玉野市立八浜小学校

松本杏希子 玉野市立八浜小学校
風早 真弓 玉野市立大崎小学校
岡本 好子 早島町立早島小学校
西崎 未青 倉敷市立大高小学校
吉田 佑香 倉敷市立水島小学校
川崎 由貴 倉敷市立児島小学校
山下 友之 倉敷市立富田小学校
小河 由香 倉敷市立呉妹小学校
中山 真美 倉敷市立船穂小学校
洲本 朋子 浅口市立寄島小学校
花田 京子 浅口市立鴨方西小学校
三海 知佳 矢掛町立山田小学校
平松江里子 高梁市立巨瀬小学校
富谷 幸恵 新見市立上市小学校
尾原 友美 津山市立清泉小学校
山本富士子 鏡野町立鶴喜小学校
三谷 由香 新庄村立新庄小学校
阿部ひとみ 真庭市立湯原小学校
清友ひとみ 真庭市立米来小学校
加藤 夕貴 真庭市立川東小学校
福森 裕加 岡山理科大学附属中学校
森 さやか 朝日塾中等教育学校
金谷 絵美子 玉野市立東児中学校
藤本 久美 倉敷市立東中学校
山本由里子 新見市立大佐中学校
荒嶋 恵梨 赤磐市立桜が丘中学校
安藤 恵美 津山市立中道中学校
笹野 恭代 岡山市立香和中学校
海野 行晴 岡山市立岡輝中学校
若狭 真司 岡山県立邑久高等学校
高橋めぐみ 岡山県立岡山東商業高等学校
荒金 恭子 岡山県立和気閑谷高等学校
福江 博之 岡山県立岡山工業高等学校
木村 真緒 岡山県立西大寺高等学校
小澤 晶子 倉敷市立工業高等学校
佐藤 俊英 興譲館高等学校
采女 結 井原市立高等学校
大久保緑子 高梁市立宇治高等学校
藤森 紀子 岡山県立高松農業高等学校

Ⅲ 岡山県指定図書

学年向	書名（シリーズ） 著者名	発行所
小 (低)	『はるかちゃんが、手をあげた』 さとうあや	童心社
	『あらいぐまのせんたくもの』 大久保雨咲	童心社
	『ぼくはなきました』 くすのきしげのり	東洋館出版社
小 (中)	『びっくりしゃっくりトイレ そうじ大作戦』 野村一秋	佼成出版社
	『ハヤクさん一家とかしこい ねこ』 マイケル・ローゼン	徳間書店
	『つながる』 長倉洋海	アリス館
小 (高)	『となりのアブダラくん』 黒川裕子	講談社
	『ほんとうの願いがかなうとき』 バーバラ・オコーナー	偕成社
	『故郷の味は海を越えて「難民」 として日本に生きる』 安田奈津紀	ポプラ社
中学校	『アドリブ』 佐藤まどか	あすなる書房
	『希望の図書館』 リサ・クライン・ランサム	ポプラ社
	『ことばハンター国語辞典は こうつくる』 飯間浩明	ポプラ社

Ⅳ 結果

1) 応募作品数・応募校数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校低学年	6,402 編	6,340 編	3,481 編
小学校中学年	10,976 編	10,478 編	5,329 編
小学校高学年	11,779 編	10,876 編	6,084 編
中学校	24,661 編	23,480 編	19,118 編
高等学校	13,271 編	13,877 編	8,546 編
計	67,089 編	65,051 編	42,558 編
応募校数	589 校	576 校	556 校

2) 特別賞受賞者（最優秀賞受賞者）

岡山県知事賞

倉敷市立長尾小学校 6年 伊井りおな

岡山県議会議長賞

倉敷市立児島小学校 4年 斎藤 有翔

岡山県教育委員会教育長賞

玉野市立大崎小学校 2年 平藤 正堂

岡山商工会議所会頭賞

倉敷市立西中学校 3年 金井 侑里

岡山市長賞

岡山県立倉敷天城高等学校 1年 宮本 恵

岡山県読書推進運動協議会会長賞

鏡野町立南小学校 6年 福田 零月

赤磐市立豊田小学校 5年 芳形 浩人

岡山大学教育学部附属中学校 3年 杉本萌々子

毎日新聞岡山支局長賞

岡山市立福田小学校 2年 波多野陽太

倉敷市立粒江小学校 1年 長尾 颯希

岡山県立笠岡商業高等学校 3年 原田 琴未

岡山県学校図書館協議会会長賞

倉敷市立大高小学校 3年 西岡 奈優

玉野市立荘内小学校 4年 三宅 遼果

岡山大学教育学部附属中学校 2年 垂水 陸空

3) 全国コンクール入賞者

全国学校図書館協議会会長賞

玉野市立大崎小学校 平藤 正堂

サントリー奨励賞

倉敷市立長尾小学校 伊井りおな

毎日新聞社賞

岡山県立笠岡商業高校 原田 琴未

小学校低学年の部

●自由読書

今年度の県審査対象作品は、1年生が二十四編、2年生が三十六編、計六十編であった。昨年と比べると九編減ったが、コロナ禍で夏休みが短くなった中でもよく取り組んでいると感じた。

感想文に取り上げられた内容は、家族や友達との関わりをテーマにしたものが三十編程度、次いで、動物や生き物に関するもの、戦争・平和・自然災害について考えたものなど多岐にわたっていた。物語が大半を占めていたが、図鑑や説明的文章、ノンフィクションを読んだ作品、高学年の課題図書を読んだ作品もあり、低学年から読書の幅が広がっていることを感じた。

本との出会いについては、本の題名にひかれた、家族や先生や友達に紹介された、好きな作者やシリーズの本を選んだなどであった。

審査を進めていく中で感じたことは、物語の主人公と自分を重ね合わせながら物語の世界を味わい、自分の経験を振り返り、感じたこと、考えたことを素直に綴ったものが多かった。中でも、今年度はコロナ禍で家で過ごすことで家族との関わりが増え、読書を通して家族との繋がりについて見つめ直し、家族や兄弟に対する「大好き」や「ありがとう」の気持ちと、これからの決意を表すものが多かった。

広島の前爆、西日本豪雨、病気やウイルス、ごみ問題などにも思いをはせ、家族とともに暮らす幸せや平和の尊さについて考え、表現しているものもあった。

図鑑や昆虫、水の大切さ、サッカーについての本を読むことで、自分の興味関心を深めたり、疑問を解決したりする作品も見られた。サッカーテクニクの本から、仲間と協力することや、規則正しい生活にしていきたいと思いを綴ったものもあった。

表現の方法としては、選書の理由、あらすじと読み取り、読後の感想という基本的な構成ができ

ている作品が多かった。また、一番心に残った部分を自分の体験や気持ちと重ね合わせながら表現することから始めるものもあった。一方で、主人公へ語りかける書き方のものもあり、低学年らしい素直な思いがよく表れていた。いずれにしても、低学年でありながらもしっかりと書けている印象が強かった。

低学年にとっては、八百字に感想をまとめることは容易ではないと思われるが、読書を通して、自分の生活や経験を振り返ったり、新しいことに感動したりして、伝えたいことを表現することができていた。

審査を終えて、低学年児童の感性や表現力の豊かさに感動させられた。読書は、子どもたちのものの見方や考え方を変えたり、広げたりするきっかけをくれるのだと実感し、読書の素晴らしさを改めて感じる事ができた。これからも、多くの本と出会い、新しい感動や発見を見つけてほしい。そして、さらに豊かな感性を育んでいってくれることを願う。

担当 富谷 幸恵

●課題読書

今回の県審査対象作品は、1年生十七編、2年生十七編、合計三十四編でした。これを図書別にみると次の通りです。

『ながーい五ふん みじかい五ふん』	二十五編
『タヌキのきょうしつ』	五編
『山のちょうじょうの木のとっぺん』	三編
『おれ、よびだしになる』	一編

全体として、自分の体験と重ね合わせ共感したり、解決策を考えたりしたことを、素直に表現している作品が多く見られました。図書別にまとめると次のようになります。

『ながーい五ふん みじかい五ふん』

五分っていろいろあるんだよね。列にならなくてるとき、ジェットコースターに乗っているとき…。同じ五分でも違って感じる。五分は長い？五分は短い？日常生活を振り返ってみると、主人公

と同じように感じている児童が多く、自分にとってのなが一い五ふんやみじかい五ふんを共感しながら考えている感想が多く見られた。

自分の体験と重ね合わせて長い五分や短い五分を考えていくうちに、自分の心と時間の感じ方には関係があることに気が付いた児童も多く、また、どんな五分にしていくか、考えを書いた感想もありました。

『タヌキのきょうしつ』

物語の舞台は少し昔の広島。タヌキのお父さんは人間の子どもに化けて小学校で勉強をします。夜になると、お父さんが先生となって教室で子タヌキ達が勉強します。タヌキたちが楽しそうに勉強する様子やお父さんタヌキの姿に、自分や家族の姿を重ね合わせた感想が見られました。

時がたち、戦争で人々もタヌキもたくさんものが奪われてしまいました。戦争について家族に聞いたり、パネル展に行ったりして戦争や原子爆弾の恐ろしさを感じたことが素直な文章で書かれていました。平和であること、当たり前なことが当たり前前にできることに幸せを感じている作品がありました。

『山のちょうじょうの木のとっぺん』

にしやんの家で飼っていた犬のごんすけ。ごんすけは、人の年齢にすると百歳ぐらいのおじいさんです。病気とトシで弱って死にそうになっています。ごんすけに優しく寄り添うにしやんやお母さん、そして友達のいがらしくんの姿が印象的な物語です。児童の感想には、自分の家で飼っているペットと重ね合わせて思いを綴っている作品も多くありました。また、命あるものを飼う責任を重く感じている感想もありました。

『おれ、よびだしになる』

小さいころからすもうが好きな主人公。おすもうさんが好き？いえいえ、一番好きなのはよびだしさん。この物語は、自分の好きなよびだしさんになるために、たくさんの努力をし夢をかなえるお話です。感想でも、自分の将来の夢や、夢をかなえるために家族に支えられていることを書いている作品がありました。夢を持ち努力することの

すばらしさを感じました。

感想文が書かれた作品には偏りがありましたが、自分の体験と重ね合わせ心情を読み取ったり、低学年らしい素直な表現がたくさん見られたりしました。これからも素敵な本と出会い、感動や学びを積み重ね、心を豊かにして行ってほしいです。

担当 尾原 友美

●指定読書

今年度の県審査対象作品は、一年生十四編、二年生二十四編、合計三十八編であった。これを図書別に見ると、次の通りである。

『あらいぐまのせんたくもの』 九編

『はるかちゃんが、手をあげた』 十二編

『ぼくはなきました』 十七編

どの図書も題名の中に「あらいぐま」「はるかちゃん」「ぼく」といった主人公と思われる名前があり、その主人公が何を洗濯したのか、どうして手を挙げたのか、なぜ泣いたのかに興味を引かれ選んだ児童が多かった。

それぞれの指定図書について、感想の傾向をまとめてみると、次のようになる。

『あらいぐまのせんたくもの』

ある日、コインランドリーで出会ったおばあさんとあらいぐま。あらいぐまは「かなシミ」というシミが付いたハンカチをおばあさんに洗ってほしいとお願いをする。洗濯を待つ間、アライグマが話す、仲良しのきつねとけんかをして、謝りたくても謝ることができない悲しい話を自分の体験と重ね合わせ、共感しながら読み進めた児童が多かった。「かなシミ」は目に見えない心のシミ。だから、相手の気持ちを考え、素直に謝る勇気や、おばあさんのように悲しむ相手の気持ちにより添う優しさを学んだ作品が多かった。また、「かなシミ」という言葉が印象に残り、勇気や優しさで「かなシミ」を「たのシミ」や「うれシミ」に変えていきたいという感想があったのが特徴的だった。

『はるかちゃんが、手をあげた』

病気で一週間遅く入学したはるかは、初めて教

室に行った時、みんなにじっと見られはかしくその日からしゃべることができなくなった。ある日、席替えて隣の席に学級一元気な男の子あきらがくる。あきらは、はるかの方まで手を挙げたり話しかけたりして、やがてはるかは……。多くの作品が、自分とはるかの似ている点を見つけ、自信や勇気がなくて手を挙げることができないはるかに共感しながら読み進めていた。そして、遙かのように勇気を出し、苦手なことに挑戦していきたいという感想が多かった。また、はるかのことをさりげなく応援したり励ましたりするあきらの姿に心を打たれ、自分も身近な誰かが勇気を出すお手伝いをしていきたいという感想も多く見られた。

『ぼくはなきました』

参観日に自分のいいところを発表することになり悩むそうた。友達のいいところはいくらでも見つけられるのに、自分のいいところは全く見つけられず、泣き出しそうなそうたに先生がそっと、「ともだちのいいところをたくさんみつけられるのは、そうたくんのいいところですよ。」と教えてくれ、うれしくて泣いてしまったお話。いつもは叱られてばかりの主人公そうたに親しみを感じ、そうたに寄り添い、共に悲しんだり喜んだりしながら読んだのではないだろうか。読み終えた後、では自分のいいところはどこだろうかと自分で見つけようとしたり家族に尋ねたりして、今まで自分では気付かなかった自分のいいところが見つかってうれしかったという子どもらしい素直な感想が多かった。また、いいところは自分では見つけにくいものだから、これからは友達のいいところを進んで見つけていきたいという感想も多く見られた。

全体として、主人公と自分を重ね合わせ心情を想像したり共感したりしながら読み深め、感想を素直に表現している作品が多かった。また、自分を見つめ直し、勇気や優しさをもち心豊かに生きたいと願う気持ちが表現されていた。

これからも、いろいろな本の世界を楽しみ、感性豊かに育ってほしい。

担当 清友 ひとみ

小学校中学年の部

◎自由読書

自由読書の部で審査の対象となった作品は、四十九編であった。学年別に見ると、三年生が二十四編、四年生が二十五編であった。

感想文に取り上げられた内容は、家族、友情、環境、平和・戦争、福祉など多岐にわたっていた。幅広い分野から本が選ばれており、中学年の児童の読書に対する興味や関心の広がりを感じられるものだった。本との出会いについては、家族の薦め、本の題名や表紙に心をひかれて、自分の夢や興味から、学習して興味をもったからなど様々であった。

物語を扱った作品においては、登場人物と自分を重ねて共感的に読んだり、「なぜ」「どうして」と疑問をもちながら対比的に読んだりする中で、家族や友達とのつながりを見つめ直したり、自分の行動を振り返って新たな夢や目標をもったりしているものが多くみられた。読書をする中で心を動かされ、自分の心の成長や周りの人を見る目の成長が感じられる作品が多く、心温まるものであった。ノンフィクション類の作品も多くあった。戦争や平和を取り上げたものでは、本を読む中で知った戦争の恐ろしさや悲惨さをつづるだけでなく、平和の大切さとともに平和を守っていくために自分にできることは何かを考え、行動していこうとする思いをつづった作品、プラスチックごみによる海洋汚染で生き物の命が危険にさらされていることを知り、環境問題について考えた作品、世界の子どもの現状について知ったことをきっかけに、当たり前と思っていた自分たちの生活が恵まれていることに気付き、自分のできることを考えた作品。中学年の児童にとっては難しいテーマであると思われるが、本との出会いをきっかけに、自分の周りだけでなく広く世界や自然にまで思いを広げ、中学年の子どもたちなりに、自分のこととしてとらえて表現したものが多く感心した。

文章表現については、選書の理由、あらすじ、

読後感想という構成の作品が多かった。本と出会ったきっかけ、心に残った言葉の引用、登場人物への語りかけなど、書き出しから感想文の読み手を引き込む様々な表現の工夫も見られた。本を読む中で、自分と重ね合わせながら考えたこと、気付いたこと、そこから生じた心の変化など、自分の思いを言葉で表現することは容易なことではない。また、それらを一つの感想文としてまとめることも難しい。そうした難しさの中で、巧みな表現ではなくとも、本と真剣に向き合い自分の思いを素直に表現している作品が印象に残った。

審査を進めていく中で、本のもつ力、読書のすばらしさを改めて感じる事ができた。家にあった本であり期待せず読み始めたが、読み進めるうちにどんどん本の世界にはまっていったという感想もあった。出会い方は様々でも、一冊の本との出会いは、児童が読書のおもしろさを知るきっかけになったり、何かを考えるきっかけになったりする。手に取った一冊の本に心が動かされ、家族や友達、自分の暮らし、今まで当たり前に思っていたものに対する見方や考え方が変わっていく。読書は、様々な見方や考え方、感じ方を私たちに教えてくれる。

読書感想文を書くことは、もう一度自分の心と向き合い、本から得た感動、自分の成長を確かなものとして、自分の心に刻むことではないだろうか。今回、感想文を書く中で本から感じたこと、考えたことを大切にしてほしいと思う。そして、これからもたくさん本と出会うことで、さらに心豊かな人間に育ってほしいと願っている。

担当 熊代 正人

●課題読書

今年度の県審査対象作品は、三年生二十二編、四年生十五編、計三十七編であった。これを課題図書別にみると、次の通りである。

『青いあいつがやってきた！?』	五編
『ねこと王さま』	六編
『ポリぶくろ、1まい、すてた』	二十一編

『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』

五編

作品数に偏りが見られ、多かった図書は、児童にとって身近なものが題材になっており、自分の生活と比べながら読むことができたからではないかと思われる。多くの児童が登場人物と自分の体験を重ね合わせて読み、本を読んで知ったことや感じたことから自分の生活にどう生かしていくかを書くことができていた。

課題図書について、それぞれの感想をまとめると次のようになる。

『青いあいつがやってきた！?』

転校先の学校で馴染めないさとしは、流れ星に願い事をする。次の日、突然、現れたカップのような姿の青い生物は、あるミッションのために現れたという。カップの言葉に勇気もらったサトシは、転校してからなかなか声をかけることができなかつたクラスメイトに声をかけようと決心する。なかなか上手いかなかつたり、初めの一步を踏み出せなかつたりするサトシの気持ちに共感している児童が多かった。転校やクラス替えなど、自分と似た経験談をもとに自分の考えを書くことができていた。カップの助言を通して、消極的な自分から積極的な自分へと変わろうとするサトシに勇気づけられ、今後の自分の行動を変えていこうという感想が多かった。

『ねこと王さま』

お城をドラゴンに燃やされて、町で暮らすことになった王様。しかし、これまで身の回りのお世話は全て召し使いがしてくれていたもので、どれも初めての経験だらけ。一緒に暮らすことになった友達のねこは、何もできない王様のためにいろいろな工夫をする。そんなねこの姿に、ちょっとした工夫で、生活が楽しくなっていくことに気付かされたという意見や、ねこと王様の関係に心温まったという感想が多くあった。また、今年は新型コロナウイルスの影響で休校になったことと、王様が「うんのわるいできごと」で家を失ったことを重ね合わせて、不自由な中にも楽しみを見つけることの大切さを書いているものもあった。身近な

ことの中から楽しみを見つけるヒントをこの作品からもらい、自分の生活と結びつけて書くことができていた。

『ポリぶくろ、1まい、すてた』

アフリカのガンビアに暮らすアイサト。少女時代に、拾ったポリ袋が破れ、周りの人たちがしていたように道端に捨ててしまう。大人になったアイサトはある日、ヤギが捨てられたポリ袋を食べて死んでしまった話を聞き、ポリ袋をリサイクルしようと思いつく。自分の信念のために行動し、周りの人から笑われようと気にせず突き進むアイサトの強さに共感した児童が多かった。また、令和二年七月一日から全国で一律にポリ袋の有料化が開始されたことと関連させて、自分の考えを書いている児童も多かった。ごみ問題は、児童にとって身近な問題であり、リサイクルやごみ拾いなど行動しやすい題材である。今までの自分を振り返り、これからの生活スタイルをどう変えていくか考え、実際に行動に移している児童もいた。

『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』

朝日新聞社の中山記者が南極と北極に取材し、それぞれの違いを紹介した本である。分かりやすい絵や写真とともに質問に答えるような形で書かれた文章は、児童にとってはとても読みやすく、興味をもてる作品である。この本を読んで、日本から遠く離れた南極と北極の違いに素直に驚いた感想や、南極の氷が溶けていることから地球温暖化を考える作品が多かった。遠く離れている自分たちの生活が、南極や北極に影響していることに驚いたようだった。四年生の児童が書いた作品が多く、社会科でごみについて学習したことと結びつけて書いているものがあつた。筆者が述べているように、同じ「地球」に住む存在として、自分たちに何ができるかを考え、どう行動すべきかを書くことができていた。

本を読んで、自分を振り返り、学んだことを活かして実際に行動に移している児童もおり、読書体験が児童に与える影響の大きさを改めて実感した。これからも様々な本を読むことで自分の思い

や考えを広げていってほしいと願う。

◎指定読書

今回、指定図書部の県審査対象となった作品は十六編で、学年別では三年生八編、四年生八編であった。これを図書別にみると、

『びっくりしゃっくりトイレそうじ大作戦』 四編

『ハヤクさん一家とかしこいねこ』 五編

『つながる』 七編

であった。全体として、自分の経験や生活と結び付けながら、素直に感動や感想を書いている作品が多かった。

感想の傾向をまとめると、次のようになる。

『びっくりしゃっくりトイレそうじ大作戦』

由治は一人でトイレ掃除をする。同じ班の友達は掃除をさぼってばかり。そんなとき、由治は校務員の林さんと出会う。トイレ掃除が好きだという林さんにきれいにすることをおしえてもらい、「トイレそうじ大作戦」を始める。行列ができるほど人気の企画だった。日頃トイレ掃除をさぼっている友達が興味をもって取り組む姿を見て、由治はうれしくなる。

実生活の中で、掃除について振り返る感想が多かった。由治や林さんのように、嫌なことでも進んでやる気持ちや、失敗してもあきらめない気持ち、誰かのためになりたいという気持ちをもつことができた。実際に行動に移したときに、「ありがとう」と言われたり、「えらいね」と褒められたりし、これからも前向きな気持ちで取り組みたいという感想が見られた。

『ハヤクさん一家とかしこいねこ』

ハヤクさんのお父さんとお母さんは、いつも慌てている。ある日、二人はとても慌てていたので、息子のハリーを学校に送っていくのを忘れてしまった。自分のことしか考えていなかったのだ。そんなとき、飼い猫のトラーのおかげで問題は解決する。ハヤクさん一家は、時間や心に余裕をもって行動することで、家族を思って行動することができ、みんなが楽しく、安心して生活できること

小学校高学年の部

●自由読書

に気付く。

ほとんどの児童が、急いでいて物事を中途半端にしてしまったり、家族や友達の気持ちを考えて行動することができなかつたりした経験がある。ハヤクさんのお父さんとお母さんが慌てたり、自分の都合の良いように行動したりしてしまう気持ちがよく分かるようだ。児童の感想の中には、「慌てずに落ち着き、一つ一つのことをていねいにやり遂げたい」「家族や友達を大切にするために、思いやりの気持ちをもって行動していきたい」と前向きな気持ちになれたというものが多かった。この図書は、児童の生活と重ねることができ、読書を通して自分の生活を見つめ直すきっかけとなったようだ。

『つながる』

写真家の長倉洋海さんは、世界各地を訪れて紛争地や辺境の地を撮影している。その中で、たくさんのつながりを見つけてきた。現在と過去とのつながり、文化のつながり、人と人とのつながり、命のつながり……。たくさんのつながりの中で、私たちは生きている。つながりが途切れないように、そして、新しいつながりを作るために、私たちには何ができるかを考えていく必要がある。

この図書を読んで多くの児童が、新型コロナウイルスに対応する中でのつながりを意識して感想を書いていた。未知のウイルスによって、たくさんのつながりが途切れてしまっている。「学校が休校になり、大好きな先生や友達に会えなくて寂しかった」という児童がいた。「習い事に通うことができず、辛い思いをした」という児童もいた。一方で、「世界の人々が話し合い、一生懸命に解決策を考えている」と世界のつながりを発見した児童がいた。また、「正解のない問題を自分のこととして考えたい」と自分と困難な問題とのつながりを認識した児童もいた。

これからも読書を通じて、自分の考えや思いを確かめたり新しい発見をしたりして、心豊かに成長して欲しいと思う。

担当 三海 知佳

自由読書の部で県審査の対象となった作品は、五十一編であった。学年別に見ると、五年生が二十四編、六年生が、二十七編であった。

感想文に取り上げられた内容は、家族、友情、障害、差別、動物、環境、教育、戦争や平和に関するものなど多岐にわたっていた。その中でも、環境問題や動物愛護問題など、今の社会問題に目を向けたものが多くみられた。また、障害をもつ人や目標を達成しようとする活動家など、困難を乗り越える生き様について書いた内容も見られた。

全体の書きぶりとしては、本の内容に共感したことや疑問に思ったこと、感心したことなどの感想をもとに、自分の経験と結び付けたり、比較したりして自分自身の考えをさらに深めて書くことができている作品が多かった。今の社会問題に目を向けた作品では、自然保護や環境保全といった現代社会が抱える大きな問題について自分でもできることはないかという視点で考えた作品。また、貧困や国の情勢から、学校に行きたくても行けない子どもたちがいることを知って、自分たちにとっては、当たり前前の生活がそうではないことに気付かされ、思いを新たにしている作品。他者の生き方に触れた作品では、障害を抱えながらも前向きに生きる女性やパラアスリートの生き方に感銘を受け、自分の考え方や生き方を見つめ直した作品。物語の主人公の考えや行動から、挑戦することの大切さ、困難に立ち向かう勇気について、自分の現状や経験とつなげて、今後の生き方に前向きに反映させた作品。困っている人を助けたいという看護師や医師の思いに共感した作品。心に残った作品は、本に書かれている内容を自分事として真剣に考え、今、自分は何ができるかを具体的に書かれていた。

表現の仕方についても目を引くものがあった。本を読むことになったきっかけについては、印象に残る言葉を取り入れて、短文や質問から書き始めた作品。本の題名や表紙に興味をもって、想像

を膨らませ、思わず手に取ったという作品。普段、感じている疑問を解決するために手に取ったという作品など読み手に伝わるように分かりやすくまとめられているものが多かった。

審査を通して感じたことは、読書感想文というものの難しさである。読書感想文は、自分の生活体験と結び付けて書くことが求められる。残念ながら、本の感想だけになっているものがいくつかあった。逆に、経験についての記述が多くなり、本の内容に関する記述が薄くなっているものもあった。また、具体的な事例を挙げていないために、最後の部分が一般論でまとめられているような印象を受けたものもあった。本の内容についての感想、それに関連する自分の経験や考えの変容、まとめといった構成のバランスがあつてこそ、より心に訴える読書感想文になるといえる。読書感想文に取り組むことは、大変なことではあるが、一冊の本とじっくり向き合い、自己の変容や高まりを文章に表すことで、これまでの生き方を振り返ったり、新たな考えに気付いたりすることができる。

「本は、心の栄養」とよく言われる。本には、心を豊かにするためのヒントや答えがたくさんまっている。知識を得られることはもちろんだが、何か悲しいことや辛いことがあつたとき、一冊の本が心の支えになるかもしれない。気持ちを奮い立たせてくれるかもしれない。「この本に出会えてよかった。」そう思える一冊と出会ってほしい。そのためには、まず、たくさん本を手にとってほしい。そして、これからの人生をより豊かなものにしてほしいと願う。

担当 吉田 佑香

●課題読書

今回、課題読書の部の県審査対象となった作品は四十二編で、学年別では、五年生が二十三編、六年生十九編であった。これを図書別に見ると、
『ヒロシマ消えたかぞく』 十七編
『風を切って走りたい！夢をかなえるバリアフリー自転車』 十五編

『月と珊瑚』

六編

『飛ぶための百歩』

四編

であり、作品数に偏りが見られた。高学年らしく文章構成がしっかりしている作品が多く寄せられていた。どの作品も、自分に置き換えて捉えており、登場人物に思いを馳せ、自分と重ねたり、今の自分と比較したりしながら、素直な思いや感動を自分の言葉で表現することができていた。四つの課題図書について、それぞれの感想をまとめると次のようになる。

『ヒロシマ消えたかぞく』

広島平和記念資料館に展示されていたアルバム。そこには鈴木さん一家のはじける笑顔や日々の暮らし、町の風景が写し出され、愛情にあふれていた。ところが、この家族は原爆で一家全滅したという。ヒロシマの消えた家族の写真を通して「思い」を伝えている。児童は、写真から食べ物もなくいつ敵の飛行機が飛んでくるか分からない戦争中でさえもお互いを大切に思いながら日常を笑顔で懸命に生きた家族の強さ、温かさを感じ取っていた。そして、一発の原爆がこの鈴木さん一家も消し去ったことを知ること、原爆の威力・戦争の悲惨さをより強く感じたことを表現していた。戦争があつたことを忘れてはいけないこと、二度と戦争を起こしてはいけないことを自分たち世代が引き継いでいかなければいけないと結んでいる作品が多く、頼もしさを感じた。

『風を切って走りたい！夢をかなえるバリアフリー自転車』

体の不自由な人のため、四十年間で二千六百台もの自転車を作り続けてきた堀田さん。その日の食事にも困る厳しい生活だったにもかかわらず自転車を作するために努力を重ねた。苦難も乗り越え挑戦する姿を描いた実話である。児童は、体が不自由な人には無理だと決めつけるのではなく、誰にも苦手があるように、歩いたり手に力を入れたりすることが苦手があるというように、見方・考え方が変わったという気持ちを表現していた。さらに、堀田さんの生き方を通して、堀田さんのように人の役に立てる人、役に立てる仕事に就きた

いと将来の自分を語っている作品がほとんどであった。

『月と珊瑚』

主人公の名前は珊瑚。沖縄に暮らす子ども達が、沖縄の悲しい歴史を知り、米軍基地と共に生活している現状に気づいて成長する様子が、珊瑚の日記の形で語られる。今でも戦闘機が飛んでいる日常を送っている沖縄の人たちの気持ちを知り、戦争についてもっと勉強したくなったという思いを表した作品も見られた。また、この図書が、自分の学校生活における友達との関係を見直すきっかけとなり、これからの自分はどうか素直に表現された作品もあった。

『飛ぶための百歩』

幼い時に失明した少年ルーチョが、山小屋で出会った少女キアラとワシのヒナを見に行く。しかしそのヒナを二人組の密猟者が狙っていた。二人の成長と五感を大切にすることで得られる喜びを描いている。自分の欠点を認めることが他人への優しさにつながる、未来に向かって羽ばたく努力をしようと考えている作品が印象的だった。

担当 風早 真弓

●指定読書

今回、指定図書の部の県審査対象となった作品は、二十三編でこれを図書別に見ると、

『となりのアブラダくん』	十八編
『ほんとうの願いがかなうとき』	一編
『故郷の味は海をこえて』	四編

であった。

数に偏りはあるもののそれぞれの作品は、「難民問題」「異文化理解」「家族のあり方」等、今を生きる子どもたちが考えていかなければならない社会問題がテーマとなっている。本から託されたメッセージをしっかりと捉え、伝えていきたいこと、実行に移したいことを自分の生活や経験と結び付けながら考えられており、興味深く読み進められた。

『となりのアブラダくん』

編み物が好きなことを秘密にしている主人公のハル。ある日、パキスタンからやってきた転校生アブラダくんのお世話係に任命される。しかし言葉も通じず、態度も素っ気ないアブラダくんにはじめは困惑する。知らないから怖い、怖いから攻撃する、そんな連鎖を断ち切ると決意したハル。少しずつアブラダくんのことを知ろうと努め、知ったことを周囲に伝えていく。肌や髪の色、言葉、文化や宗教の違いで生まれる差別や偏見に立ち向かう少年の物語。

この物語を読んで、自分の経験や生活と重ね合わせながら、自分なりに考え、これからの生き方につなげて考えている作文が多かった。中には、偏見や差別に立ち向かうハルの姿と自分を比べ、自分自身の変えていきたいところを分析する作文もあった。多くの児童が、「知らないことは怖い」ことだということに気づき、ハルから受け取ったメッセージを素直に語って大変好感がもてた。

『ほんとうの願いがかなうとき』

主人公チャーリーは、毎日幸運の印を探して願うごとをしている。どんな幸運の印に対してもチャーリーが願っていることは一つだけ。家庭に恵まれず、おばさん夫婦と暮らしている、怒りと寂しさから、かたくなに自分を守るチャーリーだったが、その気持ちを理解してくれる人たちの中で、少しずつ心を開いていく。表面的にしか物事を見ていなかった彼女が、優しさと誠実さに目を向け始めた。自分の居場所を求める気持ちは、だれにとっても切実なもの。そうした普遍的なテーマがいきいきとした日常に描かれている物語。

チャーリーと自身を比べて読み、ほんとうの願いは何かと考える中で、自分を愛してくれる家族がいる幸せや自分を支えてくれる周りの人の優しさに気付くことができたという感想が見られた。また、どのような環境にあっても見方を変えることで幸せになることに気づき、願いを叶えることもできるのではないかという思いを素直に表現することができていた。

『故郷の味は海をこえて』

なぜ国を離れなければならなかったのか。どの

ようにして日本にたどりついたのか。思い出のつまった故郷の料理の味からひもとく「難民」のたどってきた道のりや、七名の生きる姿が説明されている。

作品の中には、「難民」と呼ばれる人がいることを知らなかったという意見が多く見られた。「難民」と呼ばれる人と自身の生活を比べ、今の生活がいかに幸せかということに気付いたという感想や、様々な事情から、自分の国を捨て、日本に逃れてきた「難民」と呼ばれる人々が安心して生活できる日本になってほしいと願いが綴られていた。

読書は、様々な見方や考え方、感じ方を私たちに教えてくれる。これからも、本から受け取ったメッセージを素直に表現して行ってほしい。多くの本に出会い、心豊かな人に成長して行ってほしいことを願っている。

担当 東 真穂

中学校の部

●自由読書

今年度、自由読書の部で県審査の対象となった作品は、八十九編であった。

今年度も自由図書ならではの様々なジャンルの本が選ばれていた。家族や友人との関わり、命について、スポーツへの取り組み、自己啓発、障がい者の社会参画に関してなど、近年、読書傾向が多様化してきたことがうかがえる。

審査を進めていく中で感じたことは、物語の登場人物と自分を重ねながら、実体験と結び付けて書かれているものが多かったことだ。家族の温かさや本当の幸せ、命の奇跡、真のバリアフリーの社会を作るなど読書を通じて自分の生き方や在り方について改めて深く考えていた。コロナ禍で当たり前の生活がいかに幸せで尊いものであるか感じたという作品も多く、等身大の中学生の悩み、思いの中で、日々、自分と葛藤しながら強く生きている様子うかがえた。

文章表現については、精一杯に自分の考えを述べ、工夫された作品が多かったが、いくつかの課

題もあった。本全体を通してではなく、印象に残った一部のセリフのみを取り上げて自分の考えを述べている作品が多いように感じた。意見を述べるだけでなく、ストーリーの魅力を感じられる感想文を期待したい。

本は、新しい知識や考え方を身につけることができる、普段の生活では体験できないようなことを知ることができる貴重な情報の宝庫である。本と出会い、読書感想文を書くことで考えが深まったり、新たな発見があったりする。読書を通して感じたこと、考えたことを自分自身の糧にしてほしい。中学生だからこそ受けとめられるそれぞれの本のメッセージを大切に深く読み味わってほしい。

●課題読書

今年度の課題図書は『天使のにもつ』『11番目の取引』『平和のバトン 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』の三冊である。県の審査対象となった感想文は全部で四十一編。その内訳は『天使のにもつ』は二十一編、『11番目の取引』は一編、『平和のバトン』は十九編であった。また、学年別では、一年生が八編、二年生が十八編、三年生が十五編であった。

『天使のにもつ』は中学二年生の斗羽風汰が五日間の職場体験を通して成長する物語である。風汰が軽い気持ちで選んだ職場体験先は保育園。想像したものとは違うことに衝撃を受け、始めは嫌々ながら仕事を手伝っていたが、しおんという一人の園児と触れ合うなかで自分は何ができるかを考え、悩み、答えを模索する。園長や保育士の働く姿を間近でみて、専門性の高い職業なのだということに気付く。

感想文の内容としては、風汰の保育園での言動と自分自身や兄弟が職場体験で学んだ体験とを重ね合わせ、仕事をするうえで何が大切かといった職業観を述べたもの、昨今問題となっている児童虐待に関して社会の一員として取り組むべきことなどといったものがみられた。特に園長の「平等つ

て全員に同じことをしてあげることじゃないと思うの。一人ひとり、その子にとって本当に必要なことをしてあげる。それでいいと思うのよ。」の言葉に感化された内容は多くの感想文にみられ、平等とは何かを考える契機になったように見受けられた。

『11番目の取引』はアフガニスタン難民のサミと祖父が辿り着いたアメリカで、祖父の心の支えだった伝統楽器ルバブを強奪されてしまうところから始まる。オークションサイトで出品されているのを見つけたサミはそれを700ドルで買い戻すため、物々交換をすることにした。アフガニスタンにいた頃の凄惨な記憶が断片的に思い出され苦悩するサミだが、友達や周囲の人たちとの温かい交流を通して成長する姿が描かれている。

感想文の内容としては友達の定義をサミの友達の言動から読み解き、自身の友達に照らし合わせ、分析したものであった。県の審査対象の作品がわずか一編のみであったのは、難民問題について身近なこととして捉えにくい側面も一因かと思われる。しかし、平和を考える上で避けては通れない問題であるので、この作品を通して関心を持つきっかけになればと思う。

『平和のバトン 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』は被爆者体験証言者の記憶を広島市の高校生たちが油絵に描いて記録する『次世代と描く原爆の絵』プロジェクトでの四組の証言者と高校生を取材したノンフィクションである。証言者と何度も対話を重ね、証言者の声を忠実に再現するにはどうすればよいか試行錯誤を重ねる真摯な高校生の姿が印象的である。

感想文の内容としては、曾祖父母、祖父母など家族の戦争体験や、広島研修での体験に触れ、戦争や原爆を後世に伝えることで平和な世界を築けるのだと説いたもの、想像力を働かせることの必要性を訴えたものが多くあった。また自然災害やコロナ禍で生活が一変したことと絡めて、「当たり前」とは一体何かを投げかけたものもあった。

全体的にみて今年度の課題図書はどれも「人と人とのつながりの大切さ」を強く意識させるもの

であり、県の審査対象となった感想文の内容もそのことに触れたものが多くあった。他者から影響を受けるのは自分だけではなく、自分の言動もまた他者に影響を与えるものなのだと認識し、行動していけたらと考える。読書を通して得たことを、家庭、学校、地域や社会の中で活かして心の豊かな人生を歩んで欲しい。

●指定読書

今年度の指定図書は『アドリブ』『希望の図書館』『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』の三冊である。県の審査対象になった感想文は全部で四十三編。出品数の内訳は、『アドリブ』十六編、『希望の図書館』十一編、『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』十六編であった。また、学年別では、一年生十四編、二年生十三編、三年生十六編であった。

『アドリブ』は、イタリアで母と二人で暮らす主人公ユージが、フルートに出会い、数多くの試練を乗り越え、プロになることを決意するまでを描いている。

感想としては、夢を追いかけることの難しさに気付き、進むべき道に迷う主人公の姿に自分自身の体験を重ね合わせて読んでいるものが多かった。自分の限界を知り、限界を超えるためにひたむきに努力する主人公の生き方に一步を踏み出す勇気をもらい、これから先どうやって生きていきたいか、自分の進むべき道を究めるために何が必要かを実直に書き綴った作品が多数あり、一人ひとりにエールを送りたくなった。

『希望の図書館』は、一九〇〇年代、アメリカ南部から北部の都市シカゴに新しい生活を求めて移り住んだラングストーン親子の物語である。母を亡くし故郷を離れなければならなくなったラングストーンは孤独を深める。「黒人は、図書館に入れてもらえない。」そう母に聞いていたラングストーンは、町でだれもが自由に入れる図書館を見つけ、そこで自分と同じ名前の詩人が書いた本と出会い、希望を見いだす。

感想文としては、主人公の置かれた境遇に思いを巡らせ、悲しみ、怒り、喜びに共感するとともに、図書館が主人公にとってどのような意味をもつかを考えたものが多くあった。本書の内容と、自分自身の生活体験を照らし合わせて書かれている作品もあったが、不自然に感じるものもあり、体験の選定は吟味されなければならないと感じた。

『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』は、三省堂の国語辞典編集者であり、この本の著者である飯間浩明さんが、「ことばハンター」として活字や放送、インターネット、街の中から生きたことばを採集し、一つのことばを辞書に載せるまでの興味深い過程が書かれている。

感想文としては、飯間さんの辞書作りに対する思いやことばに対する妥協のない姿勢に感銘を受けたものが多くあった。辞書作りの苦勞と工夫を知り、普段何気なく使っていることばに目を向け、辞書で調べた体験を書いたものも幾つかあり、「国語辞典」「ことば」のおもしろさに夢中になっている姿が感想文から伝わってきた。

本を読むことは新しい世界を知るきっかけになる。この三冊の指定図書は、その読書の醍醐味を教えてくれるものである。多くの中学生がこの三冊の本を手にとったことをうれしく思う。中学生の時期に新たな世界に踏み出す一歩となる自分だけの大切な一冊に出会うことを願っている。

高等学校の部

●自由読書

自由読書の部は、課題図書以外の作品を読んだ感想文すべてを扱う。そのジャンルは、小説や詩、短歌・俳句、評論文やノンフィクションなどあらゆる分野にわたる。

本年度、新型コロナウイルスの感染流行により、四月半ばから五月末まで全国的に休校措置が取られた。これにより授業数確保のため、各校が夏休みを大幅に短縮することとなり、例年、夏休みの宿題とされていた読書感想文に大きく影響したようである。今年、県審査へ応募された数は、

三十二校から百九十八編。学校数は昨年より九校の減少、作品数は昨年より六十一編、一昨年より八十八編の減少となった。ただ、苦しい状況の中で、それでもこれだけの数を応募くださったことに改めて感謝申し上げたい。

昨年に引き続き、読書傾向の多様化からか、今年もさまざまな作品が取り上げられており、高校生の定番と言われる作品に感想文が集中することも少なくなっている。その中で、例年「本屋大賞」の受賞作などの話題の本を取り上げたものも目立つ。「羊と鋼の森」や「君の臓腑が食べたい」などで、今年は「流浪の月」が目についた。また、近年、ヤングアダルト図書（YA）と呼ばれる中高生向けの本が人気で、書店にはカラフルなイラストが描かれた表紙の本が書棚の一角を占め、公立図書館でもYAコーナーが設けられている。感想文にもYA作品を読んだものが増えているが、深いテーマを扱ったものもある一方で、普遍化が難しい偏った設定やテーマのものもあるので感想文とする時には、作品選びを慎重にしてもらいたい。

先述したコロナ禍の影響で、今年度は各種学校行事や校外での大会等が軒並み中止となった。また、臨時休校中も外出自粛が叫ばれ、自宅での巣ごもり状態が続いた。今回の多くの感想文には、そんな高校生の鬱積した思いがたくさん見受けられた。新しい生活スタイルが求められる中、今後、その閉塞感を打破するために感想文でも新しい価値観が語られるようになると予想される。

本年度の最優秀に選ばれたのは原田琴未さんの「自分らしさの形成」である。朝井リョウの「ままならないから私とあなた」を読んだもので、物語に触発されて自分らしさとは何かを自問し、他との比較や同調性など、私たちの内面にある矛盾を深く考え、その「ままならない」ことを認めるところに救いを見出す。奇をてらうところない素直な論理で、高校生として等身大の思考ができていると、高く評価された。

優秀作品の田村優和さんの『夜と霧』を読んだのは、反戦ものとして捉えられることが多い作品を、極限状態に置かれた精神的存在である人間をコロ

ナ禍の下で閉塞状態に置かれた自分自身に引き付けて考えるという新鮮味のある感想文に仕上げていた。稲田知陽さんの『『考える』を手放さない』は、中島敦の「弟子」を読んだもので、主人公・子路の生き方と孔子との絆に対する感動がよく伝わり、とともに、現在の我々が「考える」ことを手放さずにいられるすべを追究する過程を高い文章力で表現している。岩井綾花さんの『『さみしさ』と向き合って生きていく』は、新書『『さみしさ』の力』を読んだもので、思春期の自立に関して本の内容を通して自分自身を深く掘り下げている。また筆者の考えと自分の考えをきちんと区別できている点も素晴らしい。恒川清花さんの『『大久野島からのバトン』を読んで』は、戦時中に毒ガス工場が作られた瀬戸内海に浮かぶ大久野島の事実を知り、平和への思いを強くする内容で、実際に自身で島を何度も訪れていることが感想文をより力強いものとしている。児玉明日香さんの「私の「命との向き合い方」」は、宮沢賢治の「なめとこ山の熊」を読んだもので、食の中の命のやりとりを、イオマンテや賢治の他の作品を引きながら深く考えている姿勢が優れていた。若井まひるさんの「日常といふもののメカニズム」は、夏目漱石の「吾輩は猫である」を読んだ作品で、物語全体に纏わる「死」の影を分析することで、日常生活の中、背中合わせに存在する「死」をしっかりと見つめていくという思考過程がわかりやすく書かれていた。黒田侑希音さんの『『普通』の竜巻』は、村田沙耶香の「コンビニ人間」を読んだもので、聴覚の描写に着目した点はとても新鮮で、本のテーマである「普通」についても自問しながら深く考えられている。森田香さんの「他人の靴を履いてみる」は、ブレディみかこの「僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー」を読んだもので、人種差別や多様性など、日本では経験できないようなイギリスの姿に接した驚きと、そこから触発された思索が分かりやすく表現されている。特に結論部の、題名にもしている言葉の選択が見事である。

先の見えない生活状況の中、情報の収集と深く考えること、当たり前を疑うことなどが、これま

で以上に大切になるだろう。読書感想文に挑むことで、多くの本と出会い、考えを深めてほしい。

●課題読書

課題読書部門は、この一年以内に発行された作品の中から、課題図書としてSLAが選んだ三作品を読んで書くもので、自由読書部門とは別に審査されるものである。昨年度は、四十一校から九十二編の応募があった。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、夏休みが短縮されたことが影響したせいか、十四校から四十六編の応募となった。

応募作品の内訳は、『廉太郎ノオト』が十七編、『フラミンゴボーイ』が十四編、『キャパとゲルタ：ふたりの戦場カメラマン』が十五編であった。三作品の応募数がほぼ同数であることから、それぞれの作品の内容が高校生の興味をひくものであったことがうかがえる。

本年度最優秀賞に輝いたのは、『廉太郎ノオト』を読んだ宮本恵さんの作品である。自分のやりたいことをすべきか、現実の厳しさから無難な道を選ぶべきか、という彼女自身の悩みを廉太郎の人生に重ね合わせ、「人との出会いが大切だということ」、「人生の分岐点にさしかかった時の選択方法」、「行動すれば夢が叶うということ」を学び、壁にぶつかっても逃げることなく、乗り越えようという決意を示した作品であった。

優秀賞四作品のうち、三作品が『廉太郎ノオト』であったが、この作品は、二十四年という短い生涯の中で、滝廉太郎が、東京音楽学校で個性的な教授陣や友人たちと出会い、切磋琢磨しながら腕前を競い合い、新しい音楽を模索していく様子が生き生きと描かれている。宮地凜さんは、「憧れ」と「嫉妬」という感情に向き合い、才能・努力についての考察を通じ、なりたい自分を希求する心情を表現していた。岡田智七永さんは、廉太郎の心情に寄り添い、声楽を学んできた自分を変えてくれたものを振り返ることで、芸術の本質を見極めようとしていた。また、谷拓篤さんは、自分の

体験や友人とのかかわりを廉太郎の生き方や彼に関係した人々とのかかわりと比べながら、互いに高めあえる友人との絆を大切にする気持ちを表現していた。

『フラミンゴボーイ』を読んだ武村直樹さんは、主人公の足跡をたどりながら、障がい者との出会いや徳島の収容所長であった松江豊寿の話の巧みに織り交ぜ、「人権の世紀」として二十一世紀が開かれていく様子に自分の思いを寄せていた。

今回の課題図書三作品は、自己を見つめ、そこから得られた発見や内面の成長を生かし、「自分は今からどう生きるのか」ということを考える機会を与えてくれた作品であった。不安や悩みを抱えないで生きていける人はいない。読書感想文を課題として捉えるのではなく、良書との出会いから不安や悩みを乗り越え、新しい自分を作り出してほしい。

自由読書の審査概評

岡山県立邑久高等学校 若狭 真司

課題読書の審査概評

井原市立高等学校 采女 結

第32回読書感想画岡山県コンクール

I 日程

- 6月18日(木) 応募要項配布
第1回支部事務局長会議席上
- 12月18日(金) 応募締め切り
応募先・事務局
- *小学校・・・岡山市立竜之口小学校
山崎 博之
- *中学校・・・岡山市立福浜中学校
松浦 藍
- 1月8日(金)
*高校・・・岡山県立倉敷青陵高等学校
大口千恵子
- 1月8日(金) 小学校の部審査
(岡山市立竜之口小学校)
- 1月12日(火) 中学校の部審査
(岡山市立福浜中学校)
高等学校の部審査
(岡山県立倉敷青陵高等学校)

- 大森 彩 岡山市立竜之口小学校
森田 英莉 岡山市立竜之口小学校
有森 香 岡山市立竜之口小学校
片山のぞみ 岡山市立竜之口小学校
山崎 博之 岡山市立竜之口小学校
稲田 智恵 岡山市立岡山中央中学校
相川 美穂 岡山市立興除中学校
藤本 久美 倉敷市立東中学校
仁科 友希 倉敷市立南中学校
眞賀 芳郎 岡山市立吉備中学校
藤井 雅美 倉敷市立多津美中学校
松永美紀子 倉敷市立北中学校
澁谷奈津子 岡山市立高松中学校
松浦 藍 岡山市立福浜中学校
藤原 光 岡山県立備前緑陽高等学校
高取 亨一 岡山県立瀬戸高等学校
妹尾 佑介 岡山県立玉島高等学校
原田 圭子 岡山県立鴨方高等学校
大口千恵子 岡山県立倉敷青陵高等学校

II 県審査員

審査委員長 (SLA 会長)

鳥越 信行 岡山県立倉敷南高等学校

審査副委員長 (SLA 副会長)

森 淳 岡山市立岡南小学校

青木 伸晃 岡山市立操南中学校

審査委員

山下 真季 岡山市立大野小学校

眞賀 典子 岡山市立横井小学校

田村 敬子 岡山市立南輝小学校

有森 満美 岡山市立千種小学校

古谷 浩子 岡山市立平井小学校

中野 博充 岡山市立東疇小学校

難波伊津美 岡山市立福島小学校

田中 満史 岡山市立馬屋下小学校

佐藤 泰之 岡山市立第一藤田小学校

III 結果

1) 応募作品数・応募学校数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	1,137点/26校	850点/23校	1,226点/21校
中学校	109点/13校	115点/10校	75点/13校
高等学校	36点/8校	62点/11校	28点/9校
計	1,282点/47校	1,027点/44校	1,329点/43校

2) 最優秀賞受賞者

小学校低学年の部・自由

岡山市立福田小学校 3年 上山 一生

岡山市立福田小学校 3年 堀 桜輔

小学校低学年の部・指定

岡山市立第一藤田小学校 1年 荒島 昊海

瀬戸内市立美和小学校 1年 近藤 結衣

小学校高学年の部・自由

倉敷市立連島西浦小学校 4年 沖 かの子

岡山市立御南小学校 4年 戸光 楓子

中学校の部・自由

倉敷市立連島中学校 1年 沖 メイ子

岡山県立岡山大安寺中等教育学校 3年 三原 初子

中学校の部・指定

倉敷市立北中学校 2年 塩谷 果純

倉敷市立北中学校 2年 松嶋 和泉

高等学校の部・自由

岡山県立岡山朝日高等学校 2年 富井 遥

岡山県立倉敷南高等学校 1年 橘高 未歩

高等学校の部・指定

岡山県立岡山操山高等学校 1年 樋口 陽奈

3) 全国コンクール入賞者

中学校の部 自由読書 優良賞

倉敷市立連島中学校 1年 沖 メイ子

小学校低学年の部 指定読書 佳作

瀬戸内市立美和小学校 1年 近藤 結衣

IV 審査報告

【小学校の部】

岡山市立竜之口小学校 山崎 博之

○ 審査事務の流れ

第32回読書感想画岡山県コンクールへの応募校は21校と前年度並、応募作品総数は昨年度より増加し1226点であった。そのうち、応募要項にもとづいて各校の校内審査を経た作品83点が県コンクールに出品された。

審査会は、1月8日（金）に岡山市立竜之口小学校で行われた。図画工作・国語等に造詣の深い15名の先生方にお集まりいただき、厳正かつ慎重に審査をしていただいた。

司書の尽力により、感想画の図画がアイウエオ順に並べられ、参考図画が傍らにあることで内容や挿絵の模写などの確認がスムーズであった。応募の規定に関する違反が数校で見られたので、指導者や担当者が、指導の段階から応募の決まりや趣旨などをしっかりと把握しておく必要があると感じた。

3学期はじめのご多用の中、ご協力くださった審査員の先生方に心より感謝申し上げます。

	自由読書	指定読書
最優秀	低2点 高2点	低2点 高0点
優 秀	低6点 高3点	低2点 高1点
入 選	低10点 高11点	低9点 高4点

【最優秀作品】

自由読書・低学年



指定読書・低学年



自由読書・高学年



指定読書・高学年

「該当なし」

○ 審査概評・今後の課題等（※審査員の声を総括）

・「お話をよんで、自分の思いやイメージを広げるのは、とても大変なことです。とても大切なことだと思います。感想画は、思いに加えて、絵の力も要求されるところが、難しいですが、そこをがんばっている子どもたちがすごいと思います。」

・「優秀に選ばれた子どもたちの作品を見ていると、自分の思い（イメージ）を誰かに伝えたいという思いが、とても強く、楽しんで描いたことが絵から伝わってきました。そんな楽しい作品をかける本との出会いもステキだと思いました。」

・「しっかりと描きこんだ絵を久しぶりに見ました。絵として表れた部分のみでなく、そこまでの過程での思いや、友達と話したことなど、しっかりと思考を耕して描く図工の時間でありたいと感じました。」

・「作品を見て、絵を描くのが好きなんだなあと感じるものがありました。想像したことを表現することを本当に楽しんでいる感じがしました。「もしも、きょうりゅうが…」とか、「自分だったら…」と想像をふくらませやすい本もたくさんあることに気づきました。本の選び方とか、どの場面を絵にするかを考えることが難しいんだろうなと思いました。」

・「授業の中で、しっかりと取り組んだ作品があつてすごいなと思いました。緻密な表現をしているのを見て、楽しんで描いている様子が伺えました。お話を読むことからイメージをふくらませるのは、とても難しいけど、すばらしいことだと感じ、たくさんの人の目にふれる機会があるといいと思います。」

読書感想画に取り組むには、伝え合う力、想像力、表現力、読書に親しむ態度などが、求められる。そして、作品に表現することで様々な能力や態度の育成が期待できる。このコンクールの趣旨やよさを一層啓発し、各学校で積極的に取り組み、本コンクールが一層、発展・充実していくことを期待している。

【中学校の部】

岡山市立福浜中学校 松浦 藍

○ 審査事務の流れ

募集要項に基づき、各校で応募作品を募り、校内審査を経た作品が、コンクールに出品されました。

本年度は、参加校 13 校、全応募作品数 75 点、県コンクールへは 59 点の作品が応募されました。

審査会は 1 月 12 日（月）午後 2 時から、岡山市立福浜中学校図書館にておこなわれました。県内の国語科・美術科担当の 9 名の先生方に審査をお願いし、厳正な審査の結果、最優秀作品 4 点を中央コンクールへ出品しました。審査を担当して下さった先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

○ 審査概評・作品について

(1) 審査会全体を通して

- ・指定図書がやはり出品数が少なく入選数も昨年同様に少ないので、指定図書の作品応募が増えればいいと思う。
- ・時間をかけて描いた作品とそうでない作品との違いが大きいので、作品制作に取り掛かり、時間をかけて描かせたいと思う。

- ・指定図書の選定を夏休み前にして、生徒がじっくり制作に取り組めるようにすれば、指定の部の作品の質が上がると思うので、是非早く選定し発表してほしい。

- ・今年度はコロナ禍で作品数の減少が心配されたが、昨年に比べても見劣りしない作品が集まっていて素晴らしかった。特に選んだ図書が前向きで建設的な内容のものが増えてきており、今後ともこの傾向が続いてくれることを願っている。

- ・上位の点数はあきらかに書き込みや構図など素晴らしいものが多かった。また、入賞したものや、その前後のものの中にも部分的に素晴らしいものやアイデアを感じるものも数点あった。あと周りを書いていけば、もう少し主役を丁寧に塗っていればと惜しいものがあった。

- ・どの作品も本を読む楽しさにあふれている。読書を通じて子どもたちの心の世界や創造につながる豊かさが育てられており、有意義なコンクールだと感じている。

- ・課題図書の発表をもう少し早くしてほしい。本年のようなコロナ対応をする中で制作するのは例年以上に喜びだったと思う。せめて 1 か月早くしてほしい。

- ・本を読みとり、解釈し、絵を描くと言う様々な力が必要となってくるのがわかった。本の表紙や挿絵にひっぱられることなく、自分のイメージを表現することは大変難しいと思うのですが、柔らかな発想で構成された作品が見られました。

(2) 作品について

- ・色の表現や塗り方等、作品の世界観が見事に描かれていて素晴らしかったです。切り取られた場面が物語の中の印象的な場面だと言うことが伝わってきました。

- ・昨年よりも絵のクオリティーが上がっているように感じました。感想文と絵の兼ね合いなども考慮しましたが、本を良く読み込んで自分なりの工夫を反映させようとしている姿勢も伝わってきました。本の世界観をうまくとらえて色づかいや構図で表現しようとしている人が多かったようで楽しく拝見させてもらいました。

- ・本をしっかり読み込み、自分のイメージに近づけるために表現方法を工夫し、とても密度の高い作品に仕上がっていた。本という文学作品を絵画作品に変容させるプロセスに中学生らしい発想があり、素晴らしい。

- ・それぞれ制作者の思いがあふれる作品だった。子どもならではの純粋な視点からまっすぐ取り組んだ素直さと大胆さが印象的だった。

- ・なんの作品についての絵なのか一目でわかる作品で素晴らしかった。

- ・本を読んで感じたことを印象に残った場面などをそれぞれの完成で豊かに表現しているのが印象的でした。

今年度もコンクールに応募・参加して下さった多くの学校の先生方に御礼申し上げます。来年度も、さらに多くの学校や生徒の皆様が、このコンクールに取り組んでいただけるよう、ご協力よろしくお願いたします。

【高等学校の部】

岡山県立倉敷青陵高等学校 大口 千恵子

○審査事務の流れ

読書感想画岡山県コンクールは、2004年度から小学校・中学校・高等学校の部に分かれて事務局を置き、県SLA事務局と連携して審査事務を行っている。

本年度は支部事務局長会議で岡山県コンクールの募集要項を配付し、支部内の各校への要項配付と説明を支部事務局に依頼した。9月末には中央コンクールの募集要項が配付され、指定図書が発表された。『もえぎ草子』（久保田香里 著）、『王の祭り』（小川英子 著）、『ゴースト』（ジェイソン・レノルズ 作 ないとうふみこ 訳）、『戦場の秘密図書館：～シリアに残された希望～』（マイク・トムソン 著 小国綾子 編訳）、『よみがえった奇跡の紅型』（中川なをみ 著）の5冊が今年度の中学校・高等学校の部の指定図書であった。

1月8日（金）に締め切られた県コンクールへの応募数は以下の通りである。

〈コンクール応募総数〉

応募校数	自由読書	指定読書	作品合計
9校	25点	3点	28点

岡山県コンクール審査会は、1月12日（月）、倉敷青陵高等学校の会議室で行われた。国語・美術の担当教諭で、特に学校図書館に造詣の深い4名（備前支部2名、備中支部2名）に審査をお願いした。

事務局から応募点数・審査基準などの説明・確認をした後、指定読書・自由読書の順に審査を行った。応募作品の対象図書を手に用意し、作品と参照しながら対象図書の表紙や挿絵の引き写しなどがないか、対象図書が「募集要項」に適合しているかなどを確認し、厳正かつ慎重に審査を行った。

その結果、自由読書2点、指定読書1点、計3点の最優秀作品を決定し、中央コンクールに出品することができた。

〈受賞作品数〉

	自由読書	指定読書
最優秀	2点	1点
優 秀	2点	2点
入 選	10点	0点

○審査概評・今後の課題

審査の先生方から以下の講評をいただいた。

- ・応募数は少なかったが全体的に楽しみながら描けている。構図・色彩・書き込み具合など、どの作品にもキラリと光るものが感じられた。
- ・詩集などの異色の題材に挑戦している作品もあり、発想力が良かった。
- ・制作に対し、真摯に時間をかけて粘り強く取り組んだと思われるものは良作が多かった。
- ・本を読んで主人公の変容や自己の変容がどこにあったのか表現出来ていると良い。
- ・作品が説明的にならずに、何に感動したのか、いかにそのイメージを描けるかが大切である。
- ・絵の主題は本のクライマックスであるとは限らない。また、なるべく文字から読み取り、解釈した自分なりに感じ取った作品世界の魅力を描いてほしい。
- ・読書感想文ではなく読書感想画を描く意味を考え、ことばでは表しきれないものを是非読書感想画で表現してほしい。
- ・コンクールの認知度を上げる必要がある。指定図書を図書館に入れるなど働きかけをしてほしい。
- ・指定図書からの出品が少なかった。是非普段読まない本にもチャレンジしてほしい。

指定読書部門 最優秀賞



「もえぎの先」

自由読書部門 最優秀賞



「命のしゃぼん玉」



「獣の奏者」

絵 本 研 究 部 会

1. 令和2年度の活動状況

本年度は22年度から続けている「心をつなぐ絵本」というテーマのもと、サブテーマを「命と向き合う絵本」とし、研究を進めました。

研究部会では新刊絵本を中心に幼稚園から高等学校までの実践報告を持ち寄り、報告し合いました。

毎年発行している「読み聞かせたい絵本」はNo37を発行・配布しました。

2. 研究部会絵本研究部会設置要綱

(1) 設置について

岡山県学校図書館協議会規約第4条2項により、絵本研究部会を設置する。

(2) 目的

この部会は、絵本の指導のあり方を研究し、児童・生徒・父母の読書活動を促進する。

(3) 活動

① 毎月に関く部会で、研究する内容

- ア. 絵本の見せ方・選び方
- イ. 絵本の読ませ方・読み聞かせのあり方
- ウ. 絵本作りのあり方
- エ. その他 絵本研究のための必要な活動

② 研究成果の発表

- ア. 各郡市地区事務局を通じての内容紹介
- イ. 研究収録への収録
- ウ. 研究大会での発表
- エ. その他 絵本実践を推進するための発表

(4) 構成

① (部員の委嘱)

部員は、地区組織を通して募集し、会長が委嘱する。

② (部員数)

部員の人数は約10名とし、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭・司書を含める。

3. 令和2年度絵本研究部会委員

(敬称略 順不同)

部会長	森 淳	岡山市立岡南小学校長
事務局長	武田 綾子	岡山市立牧石小学校教諭
研究部員	六車 美加	岡山市立平井幼稚園長
〃	篠 崇敏	岡山市鹿田認定こども園 総括主任保育教諭
〃	酒本 薫	岡山市立江西小学校教諭
〃	難波 真	倉敷市立庄中学校教諭
〃	遠藤 裕美	倉敷市立東陽中学校教諭
〃	山本 泉	岡山市立後楽館高等学校教諭
〃	高槻 美保	岡山県立玉島商業高等学校教諭

4. 今年の取り組み

今年度は県大会に向けた1年として、「心をつなぐ絵本」というテーマのもと、サブテーマを「命と向き合う絵本」とし、実践を重ねていきました。コロナ渦で人との触れ合いが難しい中、絵本を通して命の大切さや、人との絆を感じてほしいという願いからです。幼児や小学校低学年向きには、友達と関わっている感覚がもてる「参加型絵本」や「くり返し絵本」で心をつなぐことを研究しました。子どもたちがよりよい絵本と出会えるよう、得られた情報をより多くの教育現場で実践にかけていただくために、今後も紹介文研究も引き続き進めていきます。

岡山県学校図書館協議会絵本研究部会

岡山県学校図書館協議会絵本研究部会では、「心をつなぐ絵本」という研究テーマのもと今年度は「命と向きあう絵本」をサブテーマとし、研究と実践を続けてきました。研究を通して確認された絵本と新しく出会った絵本の中から、読み聞かせたい絵本をお知らせします。

書 名	著 者	出版社	体裁	出版年	実践学年
-----	-----	-----	----	-----	------

命と向きあう絵本

**ゆらゆらばしのうえで**

きむらゆういち 作 はたこうしろう 絵 福音館書店 ¥1,200
2003 幼～小中

必死に逃げるうさぎ。逃がしてなるものかと追いかけるきつね。一本橋を渡ろうとしたとき、橋が崩れてきつねとうさぎは橋の上で身動きがとれなくなります。ふとした会話から、きつねとうさぎの心にはある変化が起き始めるのですが、その矢先に橋が崩れ始めどちらも絶体絶命！最後までハラハラドキドキの1冊です。

**くものうえのハリー**

城井 文 著者 パイインターナショナル ¥1,400
2015 小～高

大切な我が子を亡くして悲しみに暮れるおかあさん。そんなおかあさんを心配したこひつじハリーは、勇気を出して雲の上からおりていきます。誰もが避けては通れない大切な人との別れ。でも、その別れは苦しみだけではないことを教えてくれる、切なさや優しさの詰まった絵本です。

**木のいのち**

立松和平 作 山中桃子 絵 くもん出版 ¥1,200
2005 小高～高

戦争が終わった後の街に残った一本のけやき。その大木に人は勇気づけられ、街も元気を取り戻していきます。その木とともに過ごしてきた千春の人生をめぐる、人には人の、木には木の「生」があり、私たちは自然や物とも深くつながっていることを実感します。「生き方」や「つながり」を意識する思春期の子に薦めたい絵本です。



きつねのおきやくさま

あまんきみこ 作 二俣英五郎 絵 サンリード ¥1,800
1984 幼～小中

はらぺこきつねの前に現れたのは、やせたひよこ。きつねはひよこを太らせてから食べようと家に招いてご飯を食べさせます。しかし誘われてやってきたあひるやうさぎ、ひよこたちの「やさしい」「しんせつ」な思いがきつねの気持ちを変えていきます。ある日、腹をすかせたおおかみが現れて……。そのとききつねが取った行動は？心が優しくなる1冊です。



とんでいったふうせんは

ジェシー・オリベロス 文 ダナ・ウルエコッテ 絵
落合恵子 訳 絵本塾出版 ¥1,500 2019 小～高

おじいちゃんは長く生きてきたから、思い出という風船をたくさん持っています。僕はおじいちゃんの思い出の風船の話聞くのが大好きでした。でも、ある日その風船はおじいちゃんの手を離れ……。人生に試練はあるけれど、希望に満ちていることを子どもたちに伝えようとする絵本です。



生きる

谷川俊太郎 詩 岡本よしろう 絵 福音館書店 ¥1,300
2017 小～高

6年生の国語の教科書にも載っている詩が絵本になりました。「生きていること いま生きているということ」のリフレインに、なつかしい昭和の風景が重なって、心に響きます。いのちの大切さのメッセージが込められています。

優しい絵本



ねえさんといもうと

シャーロット・ゾロトワ 文 酒井駒子 絵・訳

あすなろ書房 ¥1,300 2019 幼～高

妹思いの姉。姉を慕う妹。ある日、いなくなった妹を探すうちに姉は不安で泣いてしまいます。今度は妹が、いつもしてもらっているように姉を慰めます。小さな姉妹の心の絆と成長が感じられ、やわらかなタッチと淡い色彩は二人の思い出をのぞいているような穏やかな気持ちになります。

楽しい絵本



くまくん

二宮由紀子 作 あべ弘士 絵 ひかりのくに ¥1,200

2004 幼～小

「くまくん」が逆立ちをして「まくくん」になるところからお話は始まります。「まくくん」に出会った動物たちも逆立ちをして、名前がひっくり返ります。子どもたちは感心したり、一緒に考えたり、大笑いしたりと大忙しです。読んだ後で、いろいろな言葉を逆さまにして遊びたくなります。



ちやんとたべなさい

ケス・グレイ 作 ニック・シャラット 絵

よしがみきょうた 訳 小峰書店 ¥1,300 2002 幼～小

デイジーはお豆が大嫌い。デイジーに豆を食べさせるために、お母さんはあれこれ提案していきます。提案が突拍子もなく面白いのはもちろん、何度も「おめでとうきれい」と言い返すデイジーの様子も面白く、子どもたちは大笑い。デイジーの顔や文字が少しずつ大きくなっていく視覚的な楽しさにも引き込まれます。



どしゃぶり

おーなり由子 文 はたこうしろう 絵 講談社 ¥1,400

2018 幼～小

急な雨。一人の男の子が雨にうたれたり、裸足で駆け回ったりする様子は、まるでその場において雨を楽しんでいるような臨場感や迫力があります。表現豊かに描かれ語られる雨の動きや形、音などに子どもたちも引き込まれ、歓声を上げたり、音をまねたりして楽しむことのできる一冊です。

SDGs とつながる絵本

へいわとせんそう
HEIWA TO SENSOU Noritake



へいわとせんそう

たにかわしゅんたろう 文 Noritake 絵

ブロンズ新社 ¥1,200 2019 幼～高

白と黒のモノトーンで描かれる日常の「へいわ」と「せんそう」。人や物や場所を見開きごとに比べると、知らず知らずのうちに平和と戦争の違いが見えてきます。これまでになかった、子どもから大人までお薦めできる平和絵本。リアルな「せんそうのくも」も必見です。



へいわってすてきだね

安里有生 詩 長谷川義史 画 ブロンズ新社 ¥1,400

2014 幼～高

小学1年生の男の子が書いた平和への思い。純粹で、素直で、力強いまっすぐな願いを、今の日本に、そして世界の人々にひとりでも多く伝えたいと、長谷川義史さんが絵を描きました。「へいわって なにかな。ぼくはかんがえたよ。」で始まる、平和へのメッセージです。



たべる たべる たべること

くすのきしげのり 作 小渕もも 絵

おむすび舎 ¥1,500 2020 幼～高

一人の女の子の成長を見つめながら、たくさんの「たべること」を通して、大切にしたいこと、伝えていきたいことが、幅広い世代に向けて丁寧に描かれています。「たべる たべる たべること」のフレーズが繰り返される、あたたかなリズム感も素敵です。



プラスチックのうみ

ミシェル・ロード 作 ジュリア・ブラットマン 絵

川上拓土 訳 小学館 ¥1,500 2020 幼～高

人間が出したプラスチックごみが、海に暮らす生き物を傷つけたり命を奪ったりしている現実を、美しいイラストでリアルに描写しています。きれいな海を取り戻すにはどうしたらいいか、読み聞かせの後みんなで話し合ってみたいですね。岡山在住の小学生の男の子が、韻を踏んだ素晴らしい翻訳をしています。

優良図書研究部会

1 活動内容

当部会では、5月、6月、8月、10月、11月、1月、2月の年8回、県立図書館の御協力において、新刊図書の中から、小学校・中学校の児童・生徒のための「おすすめの本」を選定しています。

研究員は、小学校（低学年・中学年・高学年）と中学校の4グループに分かれ、下記の選定基準に沿って、また、過去の傾向や、価格面、ページ数、字の大きさなど、いろいろと配慮しながら、それぞれのグループで意見交換した上で選定作業（書評の記入等）をすすめています。

ただ、インターネットの利用拡大に伴い、本の現物が少なくなっている現状もあります。そのため、選定月により新刊本の出版数に多い少ないがあり、また、学年によっては、分類が偏る傾向があるなど、年間を見通した選定も必要となります。

長期休業中を利用して、児童・生徒に「こんな本を読んでみたらどうですか」と、お勧めの本も紹介しています。このお勧めの本は、読書感想文のための本とは限らず、各学年に応じて、読んでおいてもらいたいなどという本の最新刊をそれぞれ選定しています。

これは、それまでの各月の選定図書の中から選ばれ、夏休みと冬休み前に、県下の小・中学校に「みなさんにすすめたい本」として、本の書評をつけて、配布しています。（カラー版ではないのが残念ですが・・・）

これらの本は、岡山県青少年保護育成条例に基づく推薦図書の中にも入れられ、「岡山県公報」に載せられて広く紹介されています。

青少年読書感想文岡山県コンクールでは、岡山県独自のものとして、昭和55年から指定図書を設けていますが、ここでも、当部会の選定図書をもとに、毎年3月、岡山県指定図書選定委員会が県立図書館にて開かれ、優良図書として選定された本の中から、小学校低・中・高学年・中学校向けに、3冊ずつを選んでいきます。

この研究部会の活動が、県下の小・中学校の児童・生徒の読書、先生や保護者の方々の読書指導の道標として、今後も、より効果的に機能するように活動していきたいものです。

2 選定基準

1 内容事項

- (1) 教育課程によく合っていて、その内容を豊かにするものであるかどうか。
- (2) 子どもたちが、興味をもって読み、小（低）、小（中）小（高）、中学生の発達段階に合ったものであるかどうか
- (3) 分かりやすく、正確で、現代の進歩に応じているかどうか。

- イ) 統計は正確で、調査年度、出典が正確であるかどうか。
- ロ) より新しい知識であり、新研究であるか、新しい方法であるかどうか。
- ハ) 事実の叙述は、科学的に正確で、実際的であるかどうか。
- ニ) 引用文、挿し絵、写真、図表などは、正確、鮮明、適切であるかどうか。
- ホ) 翻訳は原意を伝え、分かりやすく、原著者、年代、原著書が明記されているかどうか。
- ヘ) 断片的な知識でなく、体系的にまとまりのあるものであるかどうか。

(4) 主題を単に解説したものはとりあげない。

2 編集・出版事項

- (1) 短編集は採用しない。
- (2) 多くの合さんのものは採用しない。
- (3) 新刊書であること。
- (4) 辞典、事典類は採用しない。
- (5) シリーズ全巻を対象としない。

3 図書群の構成事項

- (1) 特選図書全体を通して、ある分類ばかりに偏り過ぎない。できるだけ広い分野で考慮する。
- (2) 小（低）、小（中）、小（高）、中学生向けのバランスを考慮する。

4 装丁・体裁事項

- (1) 製本、外観、大きさが適切で、書誌の体裁が整っているか。
- (2) 用紙は上質、印刷は鮮明、色彩は美しく、字の大きさ及び行間の余白が適切であるか。

3 優良図書研究会部員

部会長 森 淳 岡山市立岡南小学校校長
事務局長 武田 綾子 岡山市立牧石小学校教諭
研究部員

〈小学校の部〉

木下由布子 岡山市立陵南小学校教諭
酒本 薫 岡山市立江西小学校教諭
小川 薫 岡山市立芳泉小学校教諭
沖田 恭子 岡山市立御南小学校司書
村田 博子 岡山県立図書館総括主幹

〈中学校の部〉

岡本 大典 倉敷市立琴浦中学校教諭
藤本 久美 倉敷市立東中学校教諭
古市絵美子 岡山市立岡山中央中学校司書
西川 依里 岡山市立上道中学校教諭
越智 友美 倉敷市立南中学校教諭

令和2年7月

みなさんにすすめたい本

岡山市教育委員会
岡山県学校図書館協議会

もうすぐ楽しい夏休みがやってきます。みなさんにおすすめしたい本を学校図書館協議会の先生方に選んでもらいました。これらの本の中から一冊でも多く読んで、楽しい時間を過ごしてください。

〈おうちのかたがたへ〉

保護者が子どもに本を読むことは、読書に親しむ基礎づくりになります。また、読書をすすめることにより、心が通じ合い、対話がよりいっそうふえることとなります。

しょうがっこうていがくねんむ

小学校 低学年向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格(税込)
913	いとうみく/作 つじむらあゆこ/絵	おねえちゃんって、すっごくもやもや!	岩崎書店	68ページ 1100円

おせわはたいへんだけど、かわいいもうと。それなのに、はじめていじわるをされたよ。えをみせてくれないの。ないしょにされて、はらがたったナツちゃん。ほかにもないしょがふえて…。でもね、もうとのないしょには、ひみつがあったんだ。



913	村上しいこ/さく 長谷川義史/え	ちょきんばこのたびやすみ	PHP 研究所	78ページ 1320円
-----	---------------------	--------------	---------	----------------



けんいちが、だじゃれをいいながら日本いっしゅうするのがゆめだった。そのために、ぶたのちょきんばこにお金をためているのだが…ある日、そのちょきんばこがきえてしまった。ぶたのちょきんばこは見つかるのかな。

E	パトリス・カースト/文 ジョアン・ルー・フリートフ/絵	こころのいと つながってるよ	岩崎書店	40ページ 1650円
---	--------------------------------	----------------	------	----------------

みなさんは「こころのいと」について知っていますか。べつべつのぼしょにいてもつながっているいと。目に見えないけれど、大すきっていうきもちでできた、とくべつないと。たいせつな人とはいつもつながっているのですよ。



小学校中学年向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格 (税込)
913	柏葉 幸子/作	ぼくんちの海賊トレジャ	偕成社	122ページ 1320円

ある日、ぼくの家にはトレジャと名乗るらんぼうな海賊ぞくが落ちてきました。トレジャは、「青くて四角でうたうもの」をさがしにやってきましたが、大食いで気が短くて、ぼく以外にすがたは見えません。さがしものは無事に見つかるのでしょうか。



923	湯湯/作	トゥートウルとふしぎな友だち 精霊のなみだ	あかね書房	94ページ 1320円
-----	------	--------------------------	-------	----------------



トゥートウルは見た目がみにくく、村のみんなからこわがられている藍あいばあさんと仲良くなります。藍ばあさんの話を聞くうちに、トゥートウルは藍ばあさんの本当の正体に気づきます。人を見た目ではんだんしてしまうことのこわさとさみしさに気づかされる一冊です。

033	リビー・ドイチュ/作 バルプリー・ケルトウラ/絵	旅でみる世の中のしくみ大図解	ポプラ社	47ページ 2178円
-----	-----------------------------	----------------	------	----------------

ふだんの生活ではあまり考えないけれど、身の回りものは長い旅をしてわたしたちのところにたどりついている。この旅こそが世の中を支えている仕組みだよ。「これはどんな旅をしてきたのかな。」と考えることで、世界がこれまでとはちょっと変わって見えるかもしれないね。



小学校高学年向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格 (税込)
913	山下みゆき / 作	朝顔のハガキ 夏休み、ぼくは「ハガキの人」に会いに行った	朝日学生 新聞社	217ページ 1320円

小学6年の誠矢は、怒りっぽい祖母、元気のない母、部屋に閉じこもったままの兄との4人暮らし。そんな誠矢の家には、毎年夏になると朝顔の絵ハガキが送られてきます。ハガキの謎を解くため、誠矢は一人で島根に向かいます。そこで彼を待っていたものとは…。



611	生源寺 眞一 / 著	「いただきます」を考える 大切なごはん和田んぼの話	少年写真新聞社	141ページ 1760円
-----	------------	--------------------------------------	---------	-----------------



「ごはん」＝「食べ物」にまつわる話を食料自給率や世界とのつながり、農業の問題とからめて見ていくことができる本です。この本を読むことで、目の前の「食卓」から出発していろいろな道を見つけてみませんか？

E	ジャネット・ウィンター / 文・絵	わたしたちの家が火事です 地球を救おうとよびかける グレタ・トゥーンベリ	鈴木出版	39ページ 1650円
---	----------------------	---	------	----------------

スウェーデンの少女グレタさんのことを聞いたことがありますか？気候変動の危機を訴えるため、首都ストックホルムの国会議事堂前に座り込んで、地球を救うための行動を訴えたのです。地球の危機を救うために何ができるのか一緒に考えてみましょう。



中学生向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格(税込)
913	工藤 純子／作	てのひらに未来	くもん出版	204ページ 1540円

町工場を経営する琴葉の父は、職人氣質で無口。でも住み込みで働く天馬は父をととても尊敬している。そんな中、父が大企業からの注文を断り、工場の経営が苦しくなったことを知る。父がどうして断ったか知る過程で、琴葉は自分の将来のことを本気で考え始める。



933	アラン・グラッツ／作	明日をさがす旅 故郷を追われた子どもたち	福音館書店	413ページ 2420円
-----	------------	-------------------------	-------	-----------------



自分の故郷を追われて難民になる人々が現代も後を絶ちません。ヨーゼフはナチスによる迫害から逃れ、イサベルはキューバからアメリカを目指し、マフムードはシリアからドイツへ向かいます。時代や国は違っても安心して暮らせる国を目指す気持ちは同じです。

489	久世 濃子／著	オランウータンに会いたい	あかね 書房	177ページ 1430円
-----	---------	--------------	-----------	-----------------

オランウータン愛に満ちた一冊です。研究方法についても詳しく、フィールドワークの楽しさもひしひしと感ずることができます。また、人類の生活や文化、子育てなど、我々の生き方についても考えさせられます。



令和2年12月

みなさんにすすめたい本

岡山市教育委員会
岡山県学校図書館協議会

もうすぐ楽しい冬休みがやってきます。みなさんにおすすめしたい本を学校図書館協議会の先生方に選んでもらいました。これらの本の中から一冊でも多く読んで、楽しい時間を過ごしてください。

〈おうちのかたがたへ〉

保護者が子どもに本を読むことは、読書に親しむ基礎づくりになります。また、読書をすすめることにより、心が通じ合い、対話がよりいっそうふえることとなります。

しょうがっこうていがくねんむ

小学校 低学年向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格(税込)
E	鈴木まもる/作・絵	どこからきたの?おべんとう	金の星社	32ページ 1430円

おべんとうのふたをあけると…おいしそうなおにぎりやおかずがいっぱい。でも、このおかずがどこでどうやってつくられているか、あなたは知っていますか。この本をよむと、さらにおべんとうがおいしくなりますよ。



913	いとうひろし/作	くろりすくんとしまりすくん	講談社	94ページ 1320円
-----	----------	---------------	-----	----------------



すむところも、せいかくもちがう2人。でも2人はおたがいのことがだいすきで、いっしょにいられる今がしあわせ。でも、冬がきて、しまりすくんはどうみんをするんだって…。しまりすくんといっしょにいたいと思うくろりすくん。一人ぼっちの冬はどうなるの?同じものを見てもかんじかたのちがう2人がおりなす、心あたたまるおはなし。

E	とみながまい/作 たかおゆうこ/絵	あなふさぎのジグモンタ	ひさかたチャイルド	32ページ 1430円
---	----------------------	-------------	-----------	----------------

あなのあいたふくをなおすクモのジグモンタ。おきやくさんがよろこんでくれたらいいなと、糸の色えらびも一生けんめいです。でも、しんぴんがいいというおきやくさんがつづき、お店をやめようかと思い…。そんなとき出会ったフクロウの親子。お母さんのひとことがジグモンタをゆうきづけます。カラフルな絵とやさしいお話を楽しんでみてください。



小学校中学年向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格(税込)
E	藤川幸之助／作 よしだよしえい／絵	おじいちゃんの手帳	クリエイツ かもがわ	28ページ 1980円

認知症をされていますか。今までできていたことができなくなったり、忘れてしまったりする脳の病気です。かーすけ君のおじいちゃんは、昔、小さな小学校の校長先生でした。変わっていくおじいちゃんに向かい合うにはどうしたらいいのでしょうか。



913	戸森しるこ／作	トリコロールをさがして	ポプラ社	150ページ 1430円
-----	---------	-------------	------	-----------------



2歳年上の大好きな真姫ちゃんは、最近なんだか冷たい。前みたいに2人で仲良くしたいのに、気持ちはすれ違ってばかり。周りのたくさんの人の支えを受け、少しずつ成長し、変化する2人の関係。女子ならではの悩みや気持ちに共感できる物語。

943	ミヒャエル・エングラール／作	ぼくのあいぼうはカモノハシ	徳間書店	170ページ 1540円
-----	----------------	---------------	------	-----------------

ルフスは、お父さんが仕事で何か月もオーストラリアに行ってしまう、さみしい思いをしています。ある日、人間の言葉を話せるカモノハシのシドニーに出会います。シドニーはオーストラリアから動物園にやってきたカモノハシです。オーストラリアに帰りたいシドニーと、お父さんに会いに行きたいルフスが、知恵と力を合わせます。2人は無事にオーストラリアにたどり着くのでしょうか。



小学校高学年向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格(税込)
913	麦野圭／作	つなげ！アヒルのバトン	文研出版	159ページ 1540円

航平のクラスにアヒル柄のネクタイをしたアヒル先生がやってきました。航平、鈴木、トムの3人組は、クラスで目立たない谷と一緒に、一輪車リレーに出るために練習を始めます。一輪車リレーを通して、谷の優しさと谷の母のことを心配する航平たちの思いやり、そしてアヒル先生の温かさに感動する一冊です。



949	ウルフ・スタルク／作	おじいちゃんとの最後の旅	徳間書店	166ページ 1870円
-----	------------	--------------	------	-----------------



ゴッドフリートの祖父の家はストックホルムの沖、バルト海にある小さな島。けがをして町の病院に入院した祖父をなんとか家に連れて帰ってあげたいが…。大好きな祖父のために彼はとてつもない計画を実行する。

626	谷本雄治／著	ケンさん、イチゴの虫をこらしめる 「あまおう」栽培農家の挑戦!	フレーベル館	183ページ 1650円
-----	--------	------------------------------------	--------	-----------------

できるだけ農薬を使わずに虫で害虫をやっつける「天敵農法」でいちごを育てる、樋口賢治さんの活動を紹介した本です。樋口さんはこの新しい方法を確立するまでに何度も失敗しますが、専門家に聞いたり工夫を重ねたりすることで困難を乗り越えます。挑戦することの大切さを教えてくれる一冊です。



中学生向き

分類	著者名	書名	発行所	ページ 価格(税込)
913	光丘真理／作	赤毛証明	くもん出版	141ページ 1430円

三つ葉学園に通うめぐは、ある日、生徒手帳に赤毛証明の印を押されます。「ふつう」とはなにか分からなくなっためぐの周りでは「ふつうでないこと」がたくさんあって…。人それぞれに違った「ふつうの生き方」があることに気づける本です。



933	ジョン・ボイン／著	兄の名は、ジェシカ	あすなろ書房	270ページ 1650円
-----	-----------	-----------	--------	-----------------



ぼくが最も尊敬するのは4歳年上の兄ジェイソン。サッカー部のキャプテンで人気者でぼくの相談相手。ある日、家族の前でジェイソンが心は女だと告白してから、ぼくたち家族が、まわりの眼が、変わっていく。ぼくたち家族はジェイソンにどう向き合っていくのか。

521	佐和みずえ／著 網田龍生／解説	熊本城復活大作戦 地震から二十年かけて進む道のり	くもん出版	110ページ 1540円
-----	--------------------	-----------------------------	-------	-----------------

2016年4月に起きた熊本地震で大きな被害を受けた熊本城。歴史的価値の高い熊本城は20年かけて修復されることになりました。しっかりと調査・研究を進め文化財を未来に伝えるための長い取り組みを見ていきましょう。



指定図書選定委員会

令和3年3月2日(火)、岡山県立図書館において、指定図書選定委員会を開き、令和3年度第67回青少年読書感想文岡山県コンクールの「県指定」図書を選定した。来年度4月に発表される全国コンクールの課題図書と照合し同作品が課題図書となった場合は、候補作の中の優先順位の高い作品から選定する予定である。

指定図書選定委員

〈岡山県学校図書館協議会〉

会 長 鳥越 信行 (岡山県立倉敷南高等学校校長)
副 会 長 森 淳 (岡山市立岡南小学校校長)
副 会 長 青木 伸晃 (岡山市立操南中学校校長)
小教研事務局長 武田 綾子 (岡山市立牧石小学校教諭)
小教研事務局長 早川夕加里 (岡山市立岡南小学校教諭)
中教研事務局長 笹野 恭代 (岡山市立香和中学校教諭)
中教研事務局長補佐 海野 行晴 (岡山市立岡輝中学校教諭)
事務局 長 平松 玲子 (岡山県立倉敷南高等学校教諭)
事務局 大西 結美 (岡山県立倉敷南高等学校司書)

〈アドバイザー〉

岡山県教育庁義務教育課指導主事(主幹) 江尻 寛正

〈優良図書研究部会〉

小学校 木下由布子 (岡山市立陵南小学校教諭)
酒本 薫 (岡山市立江西小学校教諭)
小川 薫 (岡山市立芳泉小学校教諭)
沖田 恭子 (岡山市立御南小学校学校司書)
村田 博子 (岡山県立図書館サービス第一課児童資料班長)
中学校 西川 依里 (岡山市立上道中学校教諭)
古市絵美子 (岡山市立岡山中央中学校学校司書)
越智 友美 (倉敷市立南中学校教諭)
岡本 大典 (倉敷市立琴浦中学校教諭)
藤本 久美 (倉敷市立東中学校教諭)

指定図書選定委員

1. 内容

平成17年度から、全国の区分が、自由図書と課題図書になる。これに岡山県独自の指定図書を設ける。

2. 目的

- (1) 岡山県に即した読書普及を推進する。
- (2) 何をどう読ませるか、図書の選択や読書指導の手がかりにする。
- (3) よりよい図書をより多くの子どもたちに読ませ、読書生活を豊かにさせる。
- (4) 岡山県優良図書選定委員会の選定した図書の有効な活用を図る。
- (5) 岡山県学校図書館協議会発足30周年を契機に、学校図書館教育のより一層の進展を図る。

3. 方法

- (1) 岡山県指定図書は、委員会を設けて指定する。
- (2) 岡山県学校図書館協議会優良図書研究部会の選定した図書などを選考する。
- (3) 冊数は、小学校低学年3点、小学校中学年3点、小学校高学年3点、中学校3点とする。
- (4) 字数、用紙、応募作品、出品数、締め切り、送付先、審査、その他の注意事項については、他の部(自由図書の部、課題図書の部)の応募要項に準ずる。
- (5) 全国コンクールの応募については、自由図書の部と一緒にして再度審査し、規定どおり出品する。
- (6) この部(指定図書)は、昭和55年度(第26回)から設ける。

4. 候補図書選定の手順

- (1) 優良図書研究部会が準備している資料の確認。
- (2) 小学校低学年の部から行う。
 - ① 優良図書担当の先生からの説明。その際、候補図書を皆さんに回して、読んでいただく。

令和2年度岡山県指定図書（県指定）

- ②説明が終わって、意見を出していただきながら、候補図書から上位3点を選考する。

そのとき、注意すること

- ◎3点の図書の内容やテーマが偏らないこと。
（分類番号に注意をして。たとえば、いわゆる文学作品ばかりにならない、ノンフィクション物を入れるなど。もちろん可能な範囲での話です。）
- ◎3点の出版社が偏らないこと。
（これは、小学校から中学校まで全体としても）

- ③アドバイザーの先生からの助言

- ④上位3点が決定したら、全国課題図書に挙げた場合の補欠の図書を定める。

そのとき、注意すること

- ◎組み合わせをつくって補欠図書を定めること。
（4番目の作品が補欠図書の1番目ではなく、この作品が挙げた場合はこの作品を入れるという方法です。たとえば、小説が挙げた場合補欠として小説を入れる。また、ノンフィクション物が挙げた場合ノンフィクション物を入れる、など。これもできる範囲での話です。）
- ⑤補欠の図書まで決定したら次の部へ進む。

学年向	書名（シリーズ） 著者名	発行所
小 (低)	『はるかちゃんが、手をあげた』 さとうあや	童心社
	『あらいぐまのせんたくもの』 大久保雨咲	童心社
	『ぼくはなきました』 くすのきしげのり	東洋館出版社
小 (中)	『びっくりしゃっくりトイレ そうじ大作戦』 野村一秋	佼成出版社
	『ハヤクさん一家とかしこい ねこ』 マイケル・ローゼン	徳間書店
	『つながる』 長倉洋海	アリス館
小 (高)	『となりのアブダラくん』 黒川裕子	講談社
	『ほんとうの願いがかなうとき』 バーバラ・オコーナー	偕成社
	『故郷の味は海を越えて「難民」 として日本に生きる』 安田奈津紀	ポプラ社
中学校	『アドリブ』 佐藤まどか	あすなろ書房
	『希望の図書館』 リサ・クライン・ランサム	ポプラ社
	『ことばハンター国語辞典は こうつくる』 飯間浩明	ポプラ社

岡山県学校図書館協議会司書部会 活動報告

1. 第43回岡山県学校司書研究協議会（倉敷大会） 中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月21日付で第43回岡山県学校司書研究協議会の中止を連絡 それに伴い総会資料はHPで公開、書面決議を行った

2. 令和2年度学校司書実態調査

目 的：学校司書の配置並びに雇用状況と、各地区での活動状況について情報収集する
上記情報と会員名簿を作成し、大会で配布する

但し、令和2年度においては大会を中止としたため、情報のみをHPで公開

日 程：3月初旬 理事選出支部へEメールを送付して依頼

5月下旬 支部事務局長へEメールを送付して依頼、支援学校へFAXで依頼

5～6月 各支部事務局内の各学校に調査依頼・回収・集計

6月30日 調査結果回収締切

6～7月 まとめ作業、不明な点は確認、情報部分のみをHPで公開

会員名簿は、理事会保管とする

実 態：・地方公務員法及び地方自治法の改正により、ほとんどの自治体で、これまで嘱託職員や臨時職員として配置されていた学校司書が会計年度任用職員になった。

・岡山市では、正規職員4名退職と岡山市教育委員会へ1名異動により正規5名減。嘱託職員（会計年度任用職員）も1名減。再任用職員6名で補充。

・赤磐市では、司書16名全員が会計年度任用職員となり、正規職員1名減。（昨年度は、正規1名、臨時11名、非常勤3名）

・加賀郡吉備中央町では、臨時職員（パートタイム会計年度任用職員）が1名減。

・笠岡市では、北木中学校が休校になり、中学校1校減。3校兼務者が7名から6名に減少。

・新見市では、学校教育課採用臨時図書事務としての配置（3名）がなくなり、代わりに新見市立中央図書館司書が4名増の7名での兼務になった。

・苫田郡鏡野町では、1名減で今年度から配置無しとなった。

・真庭市では、今年度中央図書館から2名の司書を小学校8校に派遣し、9名の司書で全校配置となった。従来から勤務していた学校司書7名のうち4名は今年度より真庭市教育委員会所属となった。

・真庭郡新庄村では、平成24年度以降未配置だったが新たに1名配置（新庄村教育委員会の所属）。

・美作市では、嘱託職員（会計年度任用職員）が1名増で、9名での兼務になった。

3. 司書部会ホームページ

URL : <http://okayamasisho. qee. jp/>

目的 : 学校司書の配置状況ならびに雇用の状況, 地区での活動状況, 司書部会沿革, 司書部会活動状況等を広報するために運営

内容 : 上記の他, 学校図書館関連ニュース (新聞記事や議会議事録), 図書館イベント情報 (講演会や研修会), 学校司書採用試験情報, 司書教諭と学校司書の連携協力による実践事例, 学校図書館の活用方法や児童生徒の読書活動に関する情報収集・共有など

課題 : 広く情報収集をしていくことと, その情報を閲覧してもらうこと

情報がありましたら, 県立岡山一宮高等学校・加茂さん (TEL:086-284-2241

FAX:086-284-2243 E-MAIL : seitarou_kamo@pref.okayama.jp) までお願いいたします。

4. 司書部会理事会

◇第1回理事会 令和2年7月13日 岡山県立倉敷南高等学校

- ・各支部の研修計画・学校司書実態調査について
- ・第43回岡山県学校司書研究協議会(倉敷大会)中止について
- ・総会準備について

◇第2回理事会兼臨時総会 令和2年8月6日 岡山県立倉敷南高等学校

- ・令和元年度の活動, 決算・監査について (報告)
- ・令和2年度活動方針案, 予算案について
- ・令和3年度岡山県学校司書研修会 (津山大会) について

◇第3回理事会 令和2年10月6日 岡山県立倉敷南高等学校

- ・令和2年度活動方針に係る具体的な役割分担について
- ・第43回岡山県学校司書研究協議会(倉敷大会)中止について
- ・学校図書館の充実に関する提案書について
- ・令和3年度岡山県学校司書研修会 (津山大会) について

◇第4回理事会 令和2年12月3日 岡山県立倉敷南高等学校

- ・大会冊子代替資料作成について
- ・県内学校図書館での活動に関する情報収集について
- ・司書部会理事未選出地区との情報交換について
- ・令和3年度岡山県学校司書研修会 (津山大会) について
- ・令和3年実態調査について
- ・各地区コロナ禍での学校図書館の運営・司書部会研修の様子 (情報交換) について

◇第5回理事会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送り, E-MAIL等に対処

※学校司書研究協議会は開催地の実行委員会が運営。その前年度は理事会を年3回開催
学校司書研修会は司書部会理事会が運営。その前年度は理事会を年4回開催

(但し, 令和2年度においては理事会兼臨時総会を開催したため, 5回を予定していた)

5. その他

◇「学校図書館の充実に関する提案書」の提出について

提出日：令和2年10月29日（木）

提出先：岡山県教育委員会

内 容：実態調査の結果を踏まえ、①県下すべての学校で一校一人体制の学校司書の配置促進 ②学校司書の資質向上のため、継続的な研修とそれに伴う予算措置について、各自治体へ働きかけを行うよう提案した

◇令和3年度岡山県学校司書研修会（津山大会）について

日 時：令和3年7月28日（水）13:00～16:00 予定

会 場：津山市総合福祉会館

内 容：司書部会総会（実態調査報告等）

全体会 （津山市小中学校からの実践発表）

研究協議会と研修会は隔年で行い、各地域（岡山・倉敷・玉野・津山）が担当する。

岡山と倉敷は2年続けて研究協議会と研修会を受け持つ年度もある

研修会は研究協議会を簡素化したものにしていきたいとの考えで、日程や分科会などを検討している

令和2年度事業報告

	実施事項	期日	会場	内容
5月	新旧代表役員会及び研修会	5/14(木)	倉敷南高等学校	・役員の確認 ・総会提出議案の協議
6月	第69回総会及び研修会	6/10(水)	ライフパーク倉敷	・令和元年度事業・決算報告 ・令和2年度事業計画・予算案
	第1回支部事務局長会議及び研修会	6/18(木)	倉敷南高等学校	・総会議決事項報告 ・事務連絡 他
7月	第1回司書部会理事会及び研修会	7/13(月)	倉敷南高等学校	・学校司書実態調査について ・総会について ・各地区情勢報告
	第43回岡山県学校司書研究協議会(倉敷大会)	7/29(水)	ライフパーク倉敷	・全体会、分科会、交流会 その他
8月	第2回司書部会理事会及び研修会	8/6(木)	倉敷南高等学校	・総会について ・令和3年度研修会について
10月	第3回司書部会理事会及び研修会	10/6(木)	倉敷南高等学校	・令和3年度研修会について ・学校司書実態調査について ・各地区情勢報告 他
	読書感想文コンクール審査準備会及び研修会	10/6(火)	香和中学校	・審査会準備
	読書感想文コンクール第1回合同審査会	10/8(木)	倉敷南高等学校	・審査日程・審査基準について
	読書感想文コンクール第2回審査会	10/22(木)	岡南小学校	・小中高別の審査
		10/22(木)	香和中学校	
	10/22(木)	倉敷青陵高等学校		
11月	読書感想文コンクール最終校正会議	11/26(木)	倉敷南高等学校	・「読書感想文集2020」最終校正
12月	読書感想文コンクール表彰式及び研修会	12/10(木)	岡山県立図書館	・表彰式
1月	第2回支部事務局長会議及び研修会	1/14(木)	倉敷南高等学校	・令和2年度事業中間報告 ・事務連絡 他
	読書感想画コンクール審査会	1/8(金)	竜之口小学校	・小中高別の審査
		1/12(火)	福浜中学校	
1/12(火)	倉敷青陵高等学校			
2月	代表理事会及び研修会	2/18(木)	倉敷南高等学校	・令和3年度総会提出議案の協議
3月	指定図書選定委員会	3/2(火)	岡山県立図書館	・令和3年度青少年読書感想文岡山県コンクールの県指定図書の選定
	第4回司書部会理事会及び研修会	3/—(—)	倉敷南高等学校	・令和3年度研修会について ・学校司書実態調査について ・各地区情勢報告 他

令和2年度 岡山県学校図書館協議会支部協議会事業報告書

支部名	実施事業名	実施期日	実施会場	内 容	参加人数
岡山	第1回 正・副会長研修会	6月2日(火)	岡山市立岡輝公民館	・平成31年度事業報告・決算報告 令和2年度事業計画・予算案等	15名
	総会並びに第1回区別研修会	6月上旬	紙面開催	【総会】 ・平成31年度事業報告・決算報告 令和2年度事業計画・予算案 【区別研修会】	
	第1回 理事研修会	7月2日(木)	岡山市立曾根小学校	・第1回区別研修会(情報交換・読書感想文コンクール審査会日程調整) ・第66回読書感想文コンクール 岡山市一次審査に向けて	20名
	全体研修会並びに第2回区別研修会	中止		・第66回読書感想文コンクール 岡山市一次審査に向けて	
	第66回岡山市読書感想文コンクール 第一次審査会(区)並びに研修会	9月8日(火) 9月8日(火) 9月3日(木) 9月1日(火) 9月8日(火)	北1区 東山公民館 北2区 岡山市立吉備中学校 東区 西大寺公民館 中区 私立就実小学校 南区 岡山市立福田中学校	・岡山市二次審査に出品する作品の選考, 入賞者作品名簿の作成 ・各区の応募総数の確認, 二次審査の審査員の推薦	31名 27名 29名 30名 35名 計152名
	第65回岡山市読書感想文コンクール 第二次審査会(市)並びに研修会 第2回理事会研修会	9月16日(水) 中止	岡山市ウエルポートなださき	・特選(県出品)・金賞・銀賞作品の選考	32名
	第3回理事会研修会	1月26日(火)	岡山市立曾根小学校	・読書感想文・賞状の仕分け	16名
	第3回区別研修会	中止			
	第4回 理事会研修会	3月上旬	紙面開催	・今年度の反省, 次年度への引継ぎ	
	第2回 正・副会長	3月中旬	紙面開催	・令和2年度事業報告・令和3年度事業計画案	
反省と課題 ・今年度は、コロナの影響で研修会が開催できなかった。研究に関しては、研究部会は開催できなかったが、次年度の県大会で発表する中学校区の小中学校が、研究授業や研究協議を行い、発表の準備を進めている。 ・読書感想文の出品について、書き方や文字数など細かい点も各校へ周知徹底ができていないことがあった。また、賞状の記入ミスが多くあり、追加配布することが多かった。全体へ周知徹底する方法を検討する必要がある。 ・岡山支部は、事務局を2校で分担し、仕事内容の精選と分業化を進めた。					
赤磐	読書感想文審査会及び研修会	9月8日(火)	赤磐市立笹岡小学校	赤磐市内小中学校読書感想文審査	10名
和気	読書感想文コンクール支部審査会	9月11日(水)	本荘小学校	読書感想文の審査	7名
備前	第1回 備前市学校図書館部会研修会	5月1日(金)	備前中学校	○令和元年度の事業報告, 令和2年度の組織作り・事業計画作成・各校の情報交換	15名
	第1回 司書部会研修会	8月3日(月)	伊里小学校	○令和元年度の活動報告, 令和2年度の計画立案, 小・中学校各部会研修	15名
	第2回 研修会並びに読書感想文審査	小学校の部 9月10日(木) 中学校の部 9月15日(火)	三石小学校	○各校の読書指導情報交換, 読書感想文の審査と反省	11名
	第2回 司書部会研修会	10月13日(火)	伊里中学校 西鶴山小学校	○各校の読書指導情報交換, 読書感想文の審査と反省 ○全体研修(選考方法等), 小・中学校各部会研修	5名 15名
	第3回 司書部会研修会	12月25日(金)	吉永小学校	○全体研修(ブックトーク), 小・中学校各部会研修会	15名
	第4回 司書部会研修会	2月19日(金)	日生中学校	○全体研修(オリエンテーション), 小・中学校各部会研修会(予定)	
	反省と課題 (読書感想文審査会より) ・今年度から、題名の指示があったが、前年度までと同様のままの出品が見られた。せっかく出品するので、もったいないと感じた。・今年度はコロナ休校のため、夏休みの宿題の量を調整した関係で、出品数が非常に少なかった。 ・県に出品される作品のレベルが知りたい。上げるべきか迷う作品が多く、非常に悩んだ。出品数がゼロになるなら上げた方がよいなど、各地区はどうしているか知りたい。 (司書部会研修会より) 年度当初、コロナ対策をしながら貸し出しを行うことが不慣れであり、難しかった。公共図書館の対策などを参考にした。今年度は研修を設けるのが難しかったが、研修内容を精査し、実際に即したものが出来たように思う。				
瀬戸内	第66回岡山県青少年読書感想文コンクール瀬戸内市審査会・研修会	9月10日(木)	瀬戸内市中央公民館	読書感想文の審査と審査に係る研修等	18名
反省と課題 コロナの影響で夏期休業日が短縮され、その影響もあり、感想文の応募数が半分程度に減少した。					
玉野	・玉野市学校図書館協議会総会及び研修会	6月30日(水)	中止; 資料配付	・令和元年度支部事業・決算等報告 ・令和2年度支部事業・予算等計画 ・読書感想文コンクール実施計画	21校
	・青少年読書感想文コンクール支部審査会及び研修会(小学校)(中学校)	9月11日(金) 9月25日(金)	日の出ふれあい会館 日の出ふれあい会館	・小学校低・中・高学年で各額ごとに審査 ・中学校各額ごとに審査	15名 14名
	・司書研修会	9月3日(木)	日の出ふれあい会館 (毎月の研修会は中止)	・学校図書館の運営と事務、読書推進等の研修 ・小学校部会・中学校部会に分かれての研修 他	22名
反省と課題 ・読書感想文コンクールの審査や、読書感想文集の取りまとめについては先を見通して取り組むことができている。事務局が交代する際に、きちんと引継ぎができる体制を整えたい。また、学校司書研修会については、司書の資質能力の向上には寄与している。 なお、今年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は必要最小限の開催とした。					
加賀郡	・第1回研修会	9月8日(金)	大和小学校	・読書感想文の書き方指導等についての研修・読書感想文加賀支部出品作品の審査	11名

支部名	実施事業名	実施期日	実施会場	内 容	参加人数
	反省と課題 ・今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、年度始めに集まらずに計画をたてた。 ・研修会では、感想文の書き方の研修や読書感想文の審査会など、充実した活動ができた。				
倉敷	学校図書館協議会第1回理事会及び総会【中止】	6月26日(金)	くらしき健康福祉プラザ	今後の見通しの計画の立案	
	学校図書館協議会第2回理事会	7月30日(木)	児島小学校	読書感想文コンクールに向けて	27名
	学校図書館協議会研修会【中止】	8月4日(火)	くらしき健康福祉プラザ	「豊かな心を育む学校図書館教育」	
	読書感想文コンクール児島地区審査(小)	8月31日(月)	緑丘小学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール玉島地区審査(小)	8月31日(月)	穂井田小学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール倉敷地区審査(小)	9月1日(火)	老松小学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール水島地区審査(小)	9月1日(火)	第五福田小学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール西部地区審査(中)	9月1日(火)	真備東中学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール船穂・真備地区審査(小)	9月2日(水)	呉妹小学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール児島地区審査(中)	9月2日(水)	味野中学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール倉敷地区審査(中)	9月3日(木)	東中学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール水島地区審査(中)	9月4日(金)	水島中学校	中央審査に向けての読書感想文の地区別の審査	約30名
	読書感想文コンクール中央審査(小)	9月9日(水)	ライフパーク倉敷	県出品に向けての審査	約30名
	読書感想文コンクール中央審査(中)	9月15日(火)	ライフパーク倉敷	県出品に向けての審査	約30名
	学校図書館協議会第3回理事会	2月15日(月)	児島小学校	本年度のまとめと来年の計画の立案	27名
	反省と課題 今年度は、感染症拡大防止の観点から第1回理事会及び総会を中止とし、議題は校支援の回覧板での書面表決をとった。 研修会は中止とした。来年度は例年と同様に組みたい。				
浅口	小教研浅口支会学校図書館教育研究部会夏期研修会	8月5日(水)	浅口市立寄島小学校	講話「今ここで `朝の読書との出会い`」元県立鴨方高等学校 校長 妹尾 和弘先生	17名
	読書感想文浅口支部審査会	9月10日(木)	浅口市立寄島小学校	読書感想文支部審査	23名
	反省と課題 夏季研修会では、朝読書の意義について教えて頂いた。また、妹尾先生ご自身が作成された「今、ここで」という通信を見せて頂いた。読むことと、書くことによって、生徒たちは自身を見つめていくという。生徒たちの行動を促す感動を与えられるものは本であると話された。朝読書を取り入れられた講話を聴き、読書の意味を再認識した研修だった。 読書感想文支部審査会では、コロナ禍の中の夏休みで出品数も多くなかったが、じっくりと感想文を読み合い、審査をすることができた。				
笠岡	読書感想文コンクール支部審査会	9月14日(月)	笠岡市立岡山小学校	岡山県読書感想文コンクールの支部審査	23名
	反省と課題 本年度は、コロナウイルス感染症のため、図書館教育部会の研修を実施することができなかった。読書感想文コンクールの支部審査については、感染症対策を行いながら予定通り実施した。				
小田	小田郡学校図書館協議会総会並びに感想文審査会	9月11日(金)	矢掛町立美川小学校	・令和元年度事業報告 ・役員選出 ・予算決算報告 ・令和2年度事業計画 ・読書感想文の支部審査会	10名
	反省と課題 ・今年度は、コロナウイルス感染症のため活動、総会、読書感想文審査会の1回のみ活動になった。 ・1学期に会がもてなかったため、読書感想文の題名の付け方や書き方等については、1学期末に文書で各校に周知した。次年度も、各校の先生方へお願いをしたい。 ・夏休みが短縮になり、応募数の減少を心配していたが、各校の先生方の声掛け、指導もあり、昨年度と同等の応募作品があった。 ・読書感想文集(学校合本)の購入が1冊以上になったことは、小規模校の多い小田支部にとってはありがたかった。				
井原	読書感想文支部審査	9月15日(火)	井原市立木之子小学校	・令和2年度の活動計画についての協議 ・井原市学校図書館協議会の役員紹介 ・支部審査会 小学校低学年の部 小学校中学年の部 小学校高学年の部 中学校の部 ・支部審査会での特選 ・入選の児童の表彰・読書感想文集の注文とりまとめ一県事務局に申し込み ・読書感想文集・県出品の賞状等を各校に配付 ・県審査会での優秀賞・入選・佳作児童の表彰	
	反省と課題 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、支部審査会において事前に作品をコピーして審査員に配付した。精度の高い、効率的な審査を行うことができた。 ・支部に出品した感想文の文章量が不十分な作品が数点見られた。コンクールに出品するという点を考慮した指導の充実と確認が望まれる。 ・岡山県の応募票を使うことや、応募票の添付の仕方等、出品に際して不十分な学校があった。より確実に周知できるようにする必要がある。	9月下旬~10月上旬 10月16日(金) 1月15日(金) 1月下旬	各校各校		
総社	図書館教育班会				
	第1回図書館教育班会	8月5日(水)	維新小学校	新刊を含む児童書等の選書会	13名
	第66回岡山県青少年読書感想文コンクール 総社支部審査会	9月14日(月)	維新小学校	読書感想文コンクール審査	23名
	学校司書部会 第1回学校司書部会	7月24日(金)	維新小学校	司書部会研修計画	12名

支部名	実施事業名	実施期日	実施会場	内 容	参加人数
	第2回学校司書部会	3月5日(金) 予定	維新小学校	学校図書館システム研修	12名
	反省と課題 (班会)今年度、総社市図書館と情報交換の場を持つことができなかったが、連携しながら様々な活動を推進することに努めた。 (司書部会)来年度は、例年通り年4回の司書部会を行い、各校の連携を深め有意義な研修を行ってきたい。				
高梁	研修会	6月24日(水)	高梁市文化交流館	○年間計画の作成・読書感想文コンクールについて説明	10名
	読書感想文コンクール審査会	9月10日(木)	高梁市図書館	○読書感想文コンクール審査	22名
	研修会(学校図書館司書部会との合同研修会)	1月19日(火)	高梁市成羽複合施設	○講義・演習 (講師)岡山県立図書館サービス第一課 児童資料班 住友加奈子氏 (内容)読み聞かせの基礎 ○協議 ・部会ごとの情報交換等 ・図書館教育について ・今年度の取り組みの反省	24名
	反省と課題 ・第1回研修会は県協議会からの指示の伝達を中心に行った。コンクールへの積極的参加を呼びかけるとともに、校内審査のあり方や各校から提出される出品目録の記入について、県協議会から指示されたことをもとに各校へ依頼を行った。本年度は6月に開催できたので、来年度以降も夏季休業の課題として取り組めるよう、研修会開催があまり遅くならないように配慮したい。 ・第1回研修会において感想文コンクールについての確認事項を連絡することで、校内審査や書類の提出が適切になされてきている。感想文コンクール審査会は、小学校と中学校では、出品数や内容等により審査にかかる時間が大きく異なるため、審査後に反省や今後に向けての協議ができにくい点が課題である。 ・学校図書館司書部会との合同研修会では、県立図書館の方を講師としてお招きし、「読み聞かせの基礎」の講習を行った。講義の後、持参した絵本の読み聞かせの実技講習を行った。改めて読み聞かせについて学び、大変参考になった。また、図書館教育について情報交換を行うことができた。				
新見	新見市読書感想文支部審査	9月17日(木)	阿新教育会館	新見市読書感想文支部審査で特選、準特選に入った生徒の作品をパソコンでデータ打ちをする	
	新見市読書感想文集の原稿作成	12月	各校		
	新見市読書感想文集の原稿校正	1月	各校		
	理事会及び研修会	3月	阿新教育会館		
反省と課題 コロナ禍で支部での研修会ができなかったが、読書感想文コンクールは例年通り行うことができた。					
津山	津山市学校図書館協議会 第1回総会・研修会 中止 図書選定会	6月22日(月) 8月20日(木)		感染症対策のため文書にて組織体制や活動計画について連絡 児童・生徒にすすめる本の選定と紹介文の作成	22名
	津山市読書感想文コンクール審査会	9月8日(火)	津山ブックセンター	津山市内の児童・生徒の読書感想文の審査	35名
	図書選定会	1月21日(木)	津山ブックセンター	児童・生徒にすすめる本の選定と紹介文の作成	20名
	津山市学校図書館協議会 第2回総会・研修会	1月26日(火)	津山市中央公民館	活動の総括 来年度の研究活動の方向性や組織体制についての協議	35名
	反省と課題 ・仕事内容の精選や、事務局次長との仕事の分担など、来年度に向けて負担の軽減に努めたい。 ・読書感想文に関する応募規定についての徹底を図りたい。				
苫田	総会・研修会	7月3日(金)	鏡野町中央公民館	事業・決算報告、事業・予算計画、読書感想文コンクールについての説明、各校の図書館利用について交流	9名
	読書感想文審査会	9月10日(木)	鏡野町中央公民館	小・中読書感想文の審査	11名
	研修会	3月2日(火)	鏡野町中央公民館	今年度の事業反省、読書感想文審査についての反省、各校の読書活動推進の取組を情報交流	9名
反省と課題 例年通りの活動ができたのでよかったが、活動の広がりはなかった。(3月2日に今年度の事業反省をするので、現段階では苫田郡全体の反省はできていない。)					
勝田	令和2年度勝田郡学校図書館協議会総会・研修会	7月7日(火)	勝北小学校	令和元年度事業報告並びに決算報告 令和2年度事業計画並びに予算案 県学校図書館協議会報告 読書感想文審査会について 読書感想文審査	7名
	勝田郡読書感想文審査会(小学校の部)	9月11日(金)	勝北小学校	読書感想文審査	4名
	勝田郡読書感想文審査会(中学校の部)	9月17日(木)	勝中央中学校	読書感想文審査	6名
反省と課題 感想文審査会を目標に、各校で感想文に取り組むことが出来た。 感想画は、教育課程の位置づけなども明確になっていない学校が多く、十分取り組むことが出来ていない。 例年、3学期に研修会を行っていたが、今年度はコロナ禍により、研修会を設定することが難しかったため実施していない。					
久米	岡山県事務局長会及び研修会	2020/6/18(木)	倉敷南高校	令和元年度事業報告・決算報告、令和2年度事業計画・予算案審議	1名
	久米郡学校図書館協議会総会・研修会	2020/7/10(金)	神目小学校	令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度事業計画(予算案は後日メールで確認)	10名
	久米郡読書感想文審査会	2020/9/8(火)	美咲町役場	読書感想文・読書感想画応募についての確認 読書感想文支部審査(小学校)	8名
	久米郡読書感想文審査会	2020/9/17(木)	美咲町役場	読書感想文支部審査(中学校)	5名
	岡山県事務局長会及び研修会	2021/1/14(木)	倉敷南高校	事務連絡	1名
真庭	総会及び研修会	7月6日(月)	久世公民館	前年度事業報告、今年度役員選出、事業計画、予算案協議	26人
	読書感想文支部審査会	9月8日(火)	久世公民館	読書感想文の審査、県出品作品の決定、文集注文についての説明	28人

支部名	実施事業名	実施期日	実施会場	内 容	参加人数
	<p>反省と課題 昨年度より、真庭支部の事務局はブロックごとの持ち回りとなった。ブロック内で会計・審査会の役割を各校に割り振り、分担して行い、効率的に行うことができた。各校の担当者や読書感想文の出品者名簿はサーバー内のファイルに直接入力してもらうようにし、効率的に事務局業務を行えた。</p>				
美作 ・ 西粟倉	支部総会・研修会-中止（書面にて承認）			R元年度事業・会計決算報告 R2年度役員選出、事業計画、予算案、読書感想文コンクール等について	
	支部読書感想文審査会・研修会	9月17日（木）	美作中学校	読書感想文審査	7名
	支部読書感想文審査会・研修会	9月24日（木）	作東農業改善センター	読書感想文審査	11名
	<p>反省と課題 ・支部総会の開催は、新型コロナウイルス感染症対応により開催できず。書面にて審議の上、今年度をしていく運びとなった。 ・支部読書感想文審査会は、水曜日が会議や修学旅行等重なりがあったため、再度の日程調整をした。 ・昨年度同様、運動会の開催時期と審査会の時期、県出品の手直しと県提出と協力のもと、できた。</p>				
備前	役員会	6月25日（木）	山陽学園高校	(1) 令和元年度事業報告・決算報告について (2) 令和2年度役員案・活動方針・事業計画・予算案について (3) 事務局校・役員校・研究発表校のローテーション等について	20名
	総会	中止（役員会で決議）			
	第1回研究会	中止（7月）			
	第2回研究会	11月19日（木）	山陽学園高校	研究発表：「定時制高校で人と図書をつなぐ」 発表者：岡山県立鳥城高等学校 教諭 橋本 育視 先生 講演：『『主体的・対話的で深い学び』を支える学校図書館』 講師：高見 京子 先生	32名
	《司書部会研修会》				
	第1回研修会	中止（4月）			
	第2回研修会 兼 合同司書部会	9月18日（金）	倉敷青陵高校	(1) 協議 理事会より、ネットワーク研究委員会より、次回おすすめ本テーマ、「プチ紹介」担当校 (2) 支部研修①：「学校図書館電子化アンケートについて 兼 サポート校中心のフリートーク」 (3) 支部研修②：「UV レジンとプラバンを使った景品作り」 (4) 合同研修 A: 初任者研修 / 合同研修 B: 授業準備研修 (5) 協議・連絡（3支部合同） 学校図書館活用研究委員会より、読書推進・サポート班より、岡山県立図書館より	26名
	第3回研修会 兼 合同司書部会	中止（12月）			
	第4回研修会	中止（2月）			
	《交流会》※本年は開催なし				
	<p>反省と課題 今年度は新型コロナウイルス感染防止を考慮し、諸会議・研究会・交流会を中止せざるを得ない状況であった。そのため、教職員・司書や生徒が他校と情報交換しスキルを共有する機会の得にくい一年であった。 来年度もしばらくはこのような状況の継続が予想されるため、会議や交流会のオンラインでの開催も検討に加え、協力体制を整えていきたい。 事務局としては、総会で渡すべき資料の配付について役員校のご協力を賜わるなど、各校の先生方に様々なご協力・ご支援を賜る一年であった。ここに感謝の意を示したい。来年度以降も、オンラインやメールで会議の代替を行う場合、郵送費用の増大が懸念される。限られた予算の中で円滑な運営ができるよう、費用の分配のあり方について今一度検討していきたい。</p>				
備中	第1回役員会	6月25日（木）	総社南高校	(1) 平成元年度事業報告及び会計報告 (2) 令和2年度事業計画（案）及び予算（案） (3) 支部総会・研究協議会について	7名
	総会・研究協議会	中止・紙面審議		(1) 報告事項 ・令和元年度事業報告及び会計報告 ・令和2年度役員紹介 (2) 協議事項 ・令和2年度事業計画（案）及び予算（案） (3) 実践報告 「おかやま山陽の読書教育について」 おかやま山陽高等学校 司書教諭 吉田春那 氏 (4) 研究協議及び情報交換	
	司書部会 第1回研修会	中止			
	第2回研修会 備前支部・美作支部との合同研修	9月18日（金）	倉敷青陵高校	報告（活動報告・決算報告）/ 協議（予算案・活動計画）/ その他連絡 支部研修Ⅰ 「授業との連携」事例紹介（各校から） 支部研修Ⅱ 「授業との連携」事例をブラッシュアップする（グループ協議） 合同研修（研修A: 初任者研修、研修B: 授業準備研修）	26名
	第3回 第4回	中止			
	図書委員会交流会	中止			
第2回役員会	中止・紙面審議			(1) 令和2年度事業報告及び会計報告 (2) 令和3年度支部総会・研究協議会について	
	<p>反省と課題 ○備中支部役員校のローテーションを改定し、事務局担当校を輪番制とすることとなりました。 ○コロナ禍の一年、全てにおいて模索の一年でした。この状況はまだまだ継続しそうです。微力ではありますが、次年度に向けて事務局校の役目を果たしていきたいと思っております。</p>				
美作	第1回司書部会初任者研修会（美作支部）	4月24日（金）	津山高校	初任者研修 協議連絡	4名
	第1回美作支部役員会・総会	5月7日（金）	津山高校	役員会：平成元年度事業報告、令和元年度会計決算報告、令和2年度事業計画案、令和2年度予算案、令和2年度美作地区図書委員会交流会案 総会：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、書面にて連絡・協議の上決議	7名 (役員会)

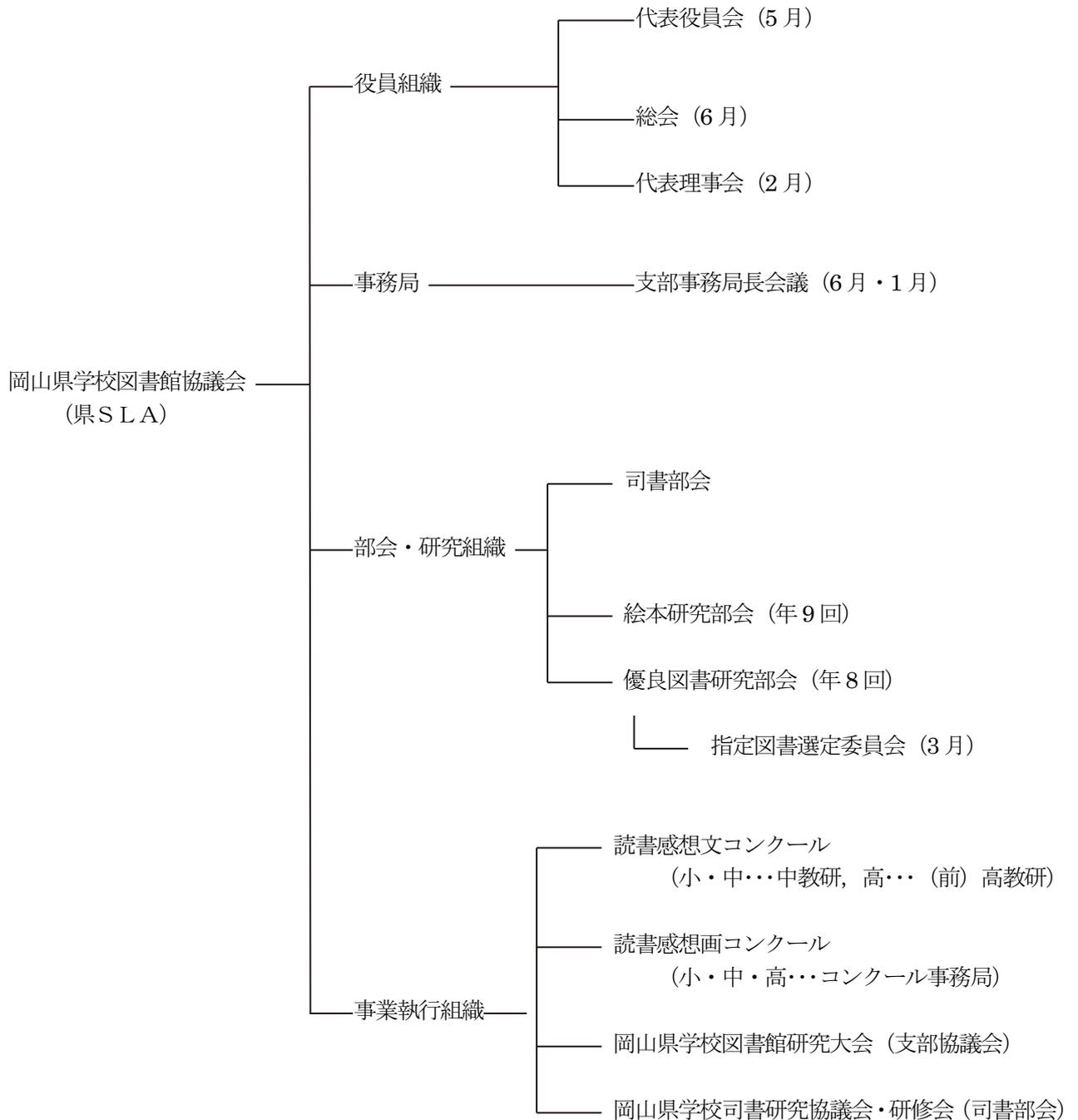
支部名	実施事業名	実施期日	実施会場	内 容	参加人数
美作	第2回美作支部役員会	7月8日(水)	津山高校	第2回研究協議会の研修内容について、第10回読後感想文コンクールについて	7名
	第2回司書部会研修会(全支部合同)	9月18日(金)	倉敷青陵高校	美作支部研修:協議連絡、SLA津山大会について、委員会交流会について 備前・美作合同研修:学校図書館電子化アンケートについて、工作実習 合同研修:初任者研修・授業準備研修	8名
	第10回美作地区高校生読後感想文コンクール表彰式	12月4日(金)	津山高校	担当校講評、美作地区高校生読後感想文表彰、最優秀賞生徒による受賞の言葉	生徒7名 教員11名
	第2回美作支部総会・研究協議会	12月4日(金)	津山高校	令和3年度事業計画案	11名
	第3回司書部会研修会(美作支部)	12月11日(金)	津山工業高校	各校の新型コロナウイルス感染対策について 学校図書館におけるICTの活用について 図書委員会交流会について	10名
	第4回司書部会研修会(美作支部)	2月25日(木)	美作高校	協議連絡、委員会交流会について、統一システム Libmax について	10名
<p>反省と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防のため第1回の総会を実施できなかった。メールや書面で決議をいただくことになったが、今年度初めて図書の担当をすることになった教員もおり、共通理解を図ることが難しかった。 ・図書委員会の活動に制限がかかり、委員会交流会も実施できなかった。来年度はしっかりと感染予防をした上で実施していきたい。 ・例年美作地区で実施している読後感想文コンクールについては、夏休みが短かったために今年度の応募が少なかった。また感染予防のためという理由で表彰式に出席できなかった生徒がいたのは残念である。 					

岡山県学校図書館協議会組織図

1. 構成組織



2. 組織図



岡山県学校図書館協議会規約

第1条 本会は、岡山県学校図書館協議会という。

第2条 本会は、事務局を会長在任の学校内におく。

第3条 本会は、県下小・中・高等学校の学校図書館相互の連絡とその充実、発展をはかり、本県教育の推進に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 県下学校図書館相互の連絡提携、情報交換
- (2) 学校図書館運営に関する研究会、講習会、展示会等の開催。
- (3) 学校図書館教育の研究
- (4) 読書指導の研究
- (5) 学校司書の研修と身分待遇の改善
- (6) 絵本・優良図書の研究
- (7) その他

2. 第1項(2)の事業の推進、及び(3)(4)の事業の援助を行うため、研究部会を設ける。

研究部会は、特に必要のない場合、適宜活動を休止することができる。

3. 第1項(5)の事業を行うため、司書部会を設ける。司書部会関することは、別に規定を定める。

4. 第1項(6)の事業を行うため、絵本研究部会、優良図書研究部会、ニューメディア研究部会、読書ノート研究部会を設ける。それぞれの部会で必要な規定は、別に定める。

第5条 本会は、岡山県小学校教育研究会情報教育部会学校図書館部（以下「小教研」と略す）・岡山県中学校教育研究会学校図書館部会（以下「中教研」と略す）・岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会（以下「高教研」と略す）によって構成する。

第6条 本会加入の小・中学校においては郡市ごとに、高等学校においては地区（備前・備中・美作）ごとに、支部協議会を設ける。

2. 支部協議会に会長を置く。また、必要に応じて副会長を置くことができる。

3. 支部協議会に支部事務局を設け、支部事務局長を置く。

4. 本会は、年に数回、支部事務局長会議を開催し、必要な書類の配布、事務連絡事項の伝達を行う。

5. その他、支部協議会に関する規定は、各支部協議会で適宜決める。

第7条 本会は、社団法人全国学校図書館協議会の賛助会員となる。

2. 本会の会長及び事務局長は、社団法人全国学校図書館協議会の正会員となる。

第8条 本会に次の役員を置き、任期は2カ年とする。ただし再任を妨げない。また、補欠役員の任期は、前任者の残留期間とする。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 代表理事
- (4) 理事
- (5) 監事

2. 役員の選出は次のとおりとする。

(1) 会長は、小教研情報教育部会副部会長（学校図書館部担当）、中教研・高教研の各部会長のなかから選出される。

(2) 副会長は、会長にならなかった小教研情報教育部会副部会長（学校図書館部担当）、中教研・高教研の各部会長をもって充てる。

(3) 代表理事は、小教研情報教育部会副部会長（学校図書館部担当）・常任理事（学校図書館部担当）・事務局員（学校図書館部担当1名）、中教研・高教研の各部会長・副部会長・事務局長、及び司書部会長をもって充てる。

(4) 理事は、代表理事及び各支部協議会の会長・副会長をもって充てる。

(5) 監事は、原則として事務局校の所在する支部内で、小教研・中教研から1名、高教研から1名選出する。

3. 本会の最小限の役員組織として、代表役員会を設ける。代表役員は、小教研情報教育部会副部会長（学校図書館部担当）・事務局員（学校図書館部担当1名）、中教研・高教研の各部会長・事務局長、及び司書部会長をもって充てる。

4. 以上の役員については、年度当初の新旧代表役員会で選出され、総会において承認を得るものとする。但し、代表理事については、総会において決定・承認されるものとする。

第9条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき

は会務を代理する。

- (3) 代表理事は、会務の重要事項を協議し決定する。また、代表役員会で仮決定した事項について協議し、決定する。
- (4) 理事は、会務全般について協議し、代表理事会での決定を承認する。また、年度当初に新旧代表役員会で仮決定した事項を決定する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 代表役員は、本会の最小限の役員組織として、緊急を要する事項について協議し、仮決定する。年度当初に開催する新旧代表役員会では、役員の選出等重要事項を仮決定する。

第10条 本会の、総会・代表理事会・代表役員会は毎年1回以上開催する。総会は、理事会をもってこれに代えることができる。

第11条 事務局には、事務局長、事務局次長、参事、事務職員等をおき、会務を処理する。

第12条 本会は、役員会の推薦により顧問・参与・賛助員を置くことができる。

第13条 本会の経費は、構成団体の拠出金・寄付金をもってあてる。

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(規約施行は昭和25年から[推定])

… (中略) …

平成 8年 6月 4日 一部改正

平成11年 6月 3日 一部改正

平成14年 5月30日 一部改正

平成17年 6月 2日 一部改正

岡山県学校図書館協議会司書部会会則

第1条 この部会は、岡山県学校図書館協議会規約第4条に基づいて設けられ、岡山県学区図書館協議会司書部会と称する。

第2条 この部会の事務局は、岡山県学校図書館協議会会長の在任の学校内におく。

第3条 この部会は、岡山県下の学校司書の資質向上と専門性の追求をめざし、学校図書館の充実と発展に資することを目的とする。

第4条 この部会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 「研究協議会」と「研修会」の計画立案・開催と参加
- (2) 各地域で行われる学校図書館研修会に対する情報提供や意見交流
- (3) 優れた実践の掘り起こしと、研究実践を広めるための活動
- (4) 学校司書の配置増と安定した雇用の確率のための活動

第5条 この部会は、岡山県下の小・中・高等学校図書館に勤務する学校司書及びこれに準ずる者を会員として構成する。

第6条 この部会は、次の役員をおく。

- (1) 部会長 1名
部会を代表し、部会の運営にあたる。また、会計事務も担当する。
- (2) 副部会長 若干名
部会長を補佐し、部会長に事故のあるときにはこれに代わる。
- (3) 理事 若干名
理事会を構成し、会務の重要事項を審議する。また、地区を代表して、部会との連絡と地区の運営にあたる。
- (4) 監事 2名
会計事務を監査し、総会に報告する。

第7条 役員は、次の方法によって定める。

- (1) 役員は、総会において選出する。任期途中において退任のときは部会長が理事にはからって補充し、総会の承認を得る。
- (2) 部会長は、会員全体の中から選出する。
- (3) 副部会長は、校種別、地区別に選出する。
- (4) 理事は、校種別、地区別に選出する。
- (5) 監事は、原則として理事経験者の中から選出する。

第8条 役員の任期は2年とし、再任は妨げない。欠員

によって補充された役員の任期は、前役員の残任期間とする。

第9条 この部会は、年1回総会を開催する。なお、理事会が必要と認めた場合、又は会員の3分の1以上から請求のあった時は、臨時総会を開催しなければならない。

2. 総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。議事は出席者の過半数で決するものとする。
3. 総会に附議しなければならない事項は次のとおりとする
 - ① 会則の改正
 - ② 役員を選出
 - ③ 事業計画並びに事業報告
 - ④ 予算案並びに決算の承認
 - ⑤ その他重要な事項

第10条 この部会は年3回理事会を開催する。なお、理事の3分の1以上から請求のあった時は、臨時理事会を開催しなければならない。

2. 理事会は、役員過半数の出席をもって成立する。
3. 理事会では、各地区の情勢報告・研修報告などの情報交換を行うほか、総会の運営に関する事項、総会に附議する議題、研究協議会・研修会に関する事項等、司書部会に関する重要な事項を審議する。
4. 理事会は、次の事項について決議することができる。緊急を要する場合で会議開催が不可能な場合は、文書持ち回りにより決議を行う。ただし、これらの決定については、次の総会において承認を得なければならない。
 - ① 役員補充
 - ② その他司書部会として緊急に決定が必要な事項

第11条 本会の経費は、会費・助成金及びその他の収入をもって充てる。ただし、当分の間会費は徴収しない。なお、研修に要する実費は、そのつど徴収することができる。

2. 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

本会則は、昭和50年4月1日から施行する。

平成15年7月24日 一部改正

平成18年7月26日 一部改正

岡山県学校図書館協議会 70年の歩み (略年表)

西暦	年号	研鑽録	全国大会	中国大会	県大会	県大会講師	主要行事など	会 長	副 会 長
1950	昭和25		(1) 東京				県SLA発足	尾野作次郎 (岡山)	大土井淑夫 (清輝) 下山 練 (津山中) 神崎
1951	26		(2) 京都					尾野作次郎 (岡山)	大土井淑夫 (清輝) 下山 練 (津山中) 神崎
1952	27		(3) 小田原			総会 久米井 東	『岡山学校図書館』 創刊9月20日付	尾野作次郎 (岡山)	大土井淑夫 (清輝) 下山 練 (津山中) 神崎
1953	28		(4) 大分			総会 坂本 一郎	司書講習 (岡山大学)	尾野作次郎 (岡山)	大土井淑夫 (清輝) 下山 練 (津山中) 神崎
1954	29		(5) 仙台			総会 尾野作次郎	司書教諭講習 (大阪学芸大学) 9名参加	尾野作次郎 (岡山)	大土井淑夫 (清輝) 神崎 水島 進 (芦中)
1955	30		(6) 徳島		(1) 西大寺, 倉敷, 津山	松尾弥太郎	学校図書館長施行	尾野作次郎 (岡山)	
1956	31		(7) 宇都宮		(2) 岡山, 倉敷, 津山	佐野 友彦		内藤 一人 (岡山)	
1957	32		(8) 札幌		(3) 岡山	松尾, 佐野 鈴木 芦谷		内藤 一人 (岡山)	
1958	33		(9) 岡山		(4) 岡山	深川 恒喜		内藤 一人 (岡山)	
1959	34		(10) 東京	(1) 萩	(5) 和気, 吉備, 英田	白井 吉見 佐野 友彦	司書教諭講習 (岡山大学) 10周年	内藤 一人 (岡山)	
1960	35		(11) 大阪		(6) 児島, 笠岡, 苫田	鈴木 英二		内藤 一人 (岡山)	高祖 忠直 室山 三義 三谷 堅 (津一)
1961	36		(12) 新潟	(2) 広島	(7) 赤鷲, 上房, 久米	松尾弥太郎		内藤 一人 (岡山)	高祖 忠直 (深 楫) 室山 三義 (倉 東) 宮野辰右衛門
1962	37		(13) 松山		(8) 岡山	裏田 武夫		内藤 一人 (岡山)	
1963	38		(3) 松江		(9) 玉野, 井原, 真庭	鈴木 英二 松尾弥太郎		内藤 一人 (岡山)	柴部 武士 宮野辰右衛門 (岡北) 井上弥太郎
1964	39		(14) 成田		(10) 御津, 浅口, 勝山 (奈義)	佐野 友彦		内藤 一人 (岡山)	三島 一夫 (深 楫) 神原 利一 (桑 田) 川部 濟
1965	40	2号	(4) 倉吉		(11) 児島, 新見, 阿哲, 英田	松尾弥太郎		内藤 一人 (岡山)	
1966	41	3号	(15) 鹿児島		(12) 津山	松尾弥太郎		川端 清 (大安寺)	三島 一夫 (深 楫) 神原 利一 (桑 田)
1967	42	4号	(5) 津山	(13) 津山	(13) 津山	木村 毅		川端 清 (大安寺)	三島 一夫 (深 楫) 神原 利一 (桑 田)
1968	43	5号	(16) 名古屋		(14) 矢掛	野地 潤家		川端 清 (大安寺)	三島 一夫 (深 楫) 梶原良太郎 (岡 北)
1969	44	6号	(6) 防府	(15) 岡山	(15) 岡山	相島 敏夫	20周年	板谷 二郎 (大安寺)	林 幸彦 (出 石) 広江 利夫 (繰 南)
1970	45	7号	(17) 山形		(16) 成羽			板谷 二郎 (大安寺)	林 幸彦 (出 石) 広江 利夫 (繰 南)
1971	46	8号	(7) 大竹	(17) 津山	(17) 津山	岩田 齊		桐野 事雄 (大安寺)	小林 元 (財 田) 広江 利夫 (繰 南)
1972	47	9号	(18) 兵庫		(18) 玉野	芦谷 清		桐野 事雄 (大安寺)	小林 元 (旭 東) 広江 利夫 (丸之内)
1973	48	10号	(8) 出雲	(19) 邑久	(19) 邑久	石森 延男		桐野 事雄 (大安寺)	小林 元 (旭 東) 坪井 隆二 (石井中)
1974	49	11号	(19) 東京		(20) 北房	谷川 徹三		金谷 達夫 (大安寺)	小林 元 (旭 東) 坪井 隆二 (石井中)
1975	50	12号	(9) 鳥取	(21) 苫田	(21) 苫田	滑川 道夫		金谷 達夫 (大安寺)	赤木 庚 (妹尾小) 坪井 隆二 (石井中)
1976	51	13号	(20) 岐阜		(22) 倉敷	戸川 幸夫		金谷 達夫 (大安寺)	赤木 庚 (妹尾小) 松本 猛 (京山中)
1977	52	14号	(10) 倉敷	(23) 倉敷	(23) 倉敷	外山磁比古		金谷 達夫 (大安寺)	赤木 庚 (妹尾小) 松本 猛 (京山中)

県教委担当者	事務局長	事務局次長	小 教 研	中教研	高教研	県司書大会	県司書部会長
岩本 俊一 近藤 節正 江口 浩三	大原 利貞						
	大原 利貞						
岩本 俊一 近藤 節正 江口 浩三	大原 利貞	影山 剛					
岩本 俊一 江口 浩三	大原 利貞	影山 剛 内田 暁郎					
竹内亥三美	大原 利貞	影山 剛 内田 暁郎					
	大原 利貞						
	大原 利貞						
	大原 利貞						
	大原 利貞					(1) 岡山県学校 司書会総会	
	大原 利貞					(2) 岡山県学校 司書会総会	
竹内亥三美 富山大三郎	大原 利貞					(3) 岡山県学校 司書会総会	
竹内亥三美 富山大三郎	大原 利貞					(4) 岡山県学校 司書会総会	
竹内亥三美 富山大三郎	大原 利貞					(5) 岡山県学校 司書会総会	
竹内亥三美 富山大三郎	大原 利貞	藤森 賢一				(6) 岡山県学校 司書会総会	
	大原 利貞	鳥越 義親	三島 一夫	神原 利一	川端 清 佐藤 稔		
	大熊 圭祐	鳥越 義親	三島 一夫	神原 利一	川端 清 佐藤 稔		
蒲田 欣二 竹内 虎男	清野 有司	幾田 尚	三島 一夫	神原 利一	川端 清 佐藤 稔		
蒲田 欣二 平坂 俱通	清野 有司	幾田 尚	三島 一夫 渡辺 武士	神原 利一 川合 四良	川端 清 佐藤 稔		
蒲田 欣二 平坂 俱通	清野 有司	幾田 尚	三島 一夫 渡辺 武士	梶原良太郎 未平 雅夫	川端 清 佐藤 稔		
蒲田 欣二 平坂 俱通	清野 有司	幾田 尚	林 幸彦 渡辺 武士	広江 利夫 相谷 道夫	板谷 二郎 横田 恭治		
蒲田 欣二 新海 章吾	幾田 尚	木村 祐造	林 幸彦 渡辺 武士	広江 利夫 吉富 進	板谷 二郎 横田 恭治	(1) 岡 山	安原 みどり
蒲田 欣二 新海 章吾	幾田 尚	木村 祐造	小林 元 渡辺 武士	広江 利夫 高尾 弘志	桐野 事雄 高田 哲夫	(2) 玉 野	安原 みどり
蒲田 欣二 新海 章吾	幾田 尚	木村 祐造	小林 元 渡辺 武士	広江 利夫 高尾 弘志	桐野 事雄 田口 重俊	(3) 倉 敷	安原 みどり
山崎 蕃 新海 章吾	木村 祐造	堤 護	小林 元 渡辺 武士	坪井 隆二 黒住 郁雄	桐野 事雄 田口 重俊	(4) 津 山	安原 みどり
山崎 蕃 新海 章吾	木村 祐造	松本 功	小林 元 渡辺 武士	坪井 隆二 黒住 郁雄	金谷 達夫 田口 重俊	(5) 岡 山	安原 みどり
山崎 蕃 新海 章吾	木村 祐造	松本 功	赤木 庚 渡辺 武士	坪井 隆二 黒住 郁雄	金谷 達夫 河村 金二	(6) 玉 野	安原 みどり
須和田秀一 山崎 蕃	木村 祐造	松本 功	赤木 庚 山名 徳則	松本 猛 相谷 道男	金谷 達夫 徳永 優	(7) 倉 敷	片山 峰子
須和田秀一 藤原 康宏	木村 祐造	松本 功	赤木 庚 山名 徳則	松本 猛 未平 雅夫	金谷 達夫 徳永 優	(8) 津 山	片山 峰子

西暦	年号	頒布年	全国大会	中国大会	県大会	県大会講師	主要行事など	会 長	副 会 長
1978	昭和53	15号	(21)佐賀		(24)瀬戸	三木 卓	表彰式(感想文)	村井 董直(芳泉)	赤木 庚(妹尾小) 松本 猛(京山中)
1979	54	16号		(11)下関	(25)岡山	金田一春彦	30周年	村井 董直(芳泉)	新井 正志(牧石小) 森安 萌(旭中)
1980	55	17号	(22)盛岡		(26)新見	松島 栄一		宮脇 律(芳泉)	石井 汎(芳泉小) 森安 萌(旭中)
1981	56	18号		(12)広島	(27)久米	斎藤 実		宮脇 律(芳泉)	石井 汎(芳泉小) 森安 萌(旭中)
1982	57	19号	(23)伊勢		(28)和気	灰谷健次郎		宮脇 律(芳泉)	野上 賢二(竜之口小) 森安 萌(旭中)
1983	58	20号		(13)浜田	(29)総社	松谷みよ子		宮脇 律(芳泉)	野上 賢二(竜之口小) 森安 萌(福岡中)
1984	59	21号	(24)山口		(30)高梁	高木 敏子		宮脇 律(芳泉)	渡辺 武士(住内小) 森安 萌(福岡中)
1985	60	22号		(14)高梁	(31)高梁(兼中国)	松山 善三		横野 昭輝(芳泉)	渡辺 武士(住内小) 黒住 有雄(足守中)
1986	61	23号	(25)那覇		(32)真庭	倉本 聡		西田 譲(一宮)	森川 鐵也(馬屋上小) 村田 重臣(石井中)
1987	62	24号		(15)米子	(33)笠岡	宮城まり子		西田 譲(一宮)	古川 正治(加茂小) 岡島 将(興余中)
1988	63	25号	(26)札幌		(34)備前	矢口 高雄		杉山 定雄(一宮)	田代 尚夫(平島小) 岡島 将(興余中)
1989	平成元	26号		(16)宇部	(35)岡山	河合 雅雄	40周年	幾田 尚(西大寺)	長安早智子(芳泉小) 岡島 将(興余中)
1990	2	27号	(27)松江		(36)新見	柴田 一		幾田 尚(西大寺)	森谷 浩平(野谷小) 岡島 将(興余中)
1991	3	28号		(17)広島	(37)勝田	岩崎 京子	第11回学校司書全国研究集会(於岡山)	坪井 克己(西大寺)	森谷 浩平(野谷小) 岡島 将(興余中)
1992	4	29号	(28)福岡		(38)倉敷	福田襄之介		皆木 徹典(和気開谷)	森谷 浩平(野谷小) 大月 要(丸之内中)
1993	5	30号		(18)益田	(39)御津	宮地 暢夫		皆木 徹典(和気開谷)	長崎 幡子(加茂小) 平田嬉世子(中山中)
1994	6	31号	(29)秋田		(40)川上	富永 一朗		中野 宏(倉敷古城池)	瀬戸川 宏(宇野小) 白神 幸世(京山中)
1995	7	32号		(19)鳥取				中野 宏(倉敷古城池)	瀬戸川 宏(宇野小) 赤木 久児(藤田中)
1996	8	33号	(30)埼玉		(41)英田	あさのあつこ		中野 宏(倉敷古城池)	亀高 嘉彦(梁砥小) 赤木 久児(藤田中)
1997	9	34号		(20)岡山	(42)総社真備(兼中国)	阿刀田 高		大山 晋右(倉敷古城池)	亀高 嘉彦(梁砥小) 赤木 久児(藤田中)
1998	10	35号	(31)金沢					鴨頭 脩(倉敷青陵)	菱川 成雄(高島小) 香川 璋子(高松中)
1999	11	36号		(21)岩国	(43)岡山	塩見 昇	50周年	鴨頭 脩(倉敷青陵)	菱川 成雄(高島小) 香川 璋子(高松中)
2000	12	37号	(32)奈良		(44)新見・阿哲	灰谷健次郎		川井章三郎(倉敷南)	菱川 成雄(城東台小) 香川 璋子(高松中)
2001	13	38号		(22)広島				山根 健(倉敷南)	菱川 成雄(城東台小) 綿谷 佳男(興余中)
2002	14	39号	(33)横浜		(45)津山	後藤 竜二		大嶋 俊宣(倉敷天城)	料治 育子(伊島小) 綿谷 佳男(興余中)
2003	15	40号		(23)出雲				大嶋 俊宣(倉敷天城)	料治 育子(伊島小) 綿谷 佳男(福岡中)
2004	16	41号	(34)岡山(くまの)		(46)井原後月	佐々木正美		高規 健(倉敷古城池)	坪井由紀子(政田小) 綿谷 佳男(福岡中)
2005	17	42号		(24)倉吉				高規 健(倉敷古城池)	坪井由紀子(政田小) 綿谷 佳男(福岡中)

県教委担当者	事務局長	事務局次長	小 教 研	中教研	高教研	県司書大会	県司書部会長
国塩 輝昭	山吹 堯敏	萩原 一之	赤木 庚 山名 徳則	森安 萌 相谷 道男	村井 董直 岡 博	(9) 岡 山	片山 峰子
国塩 輝昭	山吹 堯敏	柴岡 元	新井 正志 三宅 敏文	森安 萌 相谷 道男	村井 董直 岡 博	(10) 玉 野	片山 峰子
国塩 輝昭	山吹 堯敏	柴岡 元	石井 汎 福岡トキコ	森安 萌 相谷 道男	宮脇 律 岡 博	(11) 倉 敷	片山 峰子
国塩 輝昭	山吹 堯敏	萩原 一之	石井 汎 福岡トキコ	森安 萌 相谷 道男	宮脇 律 大熊 圭祐	(12) 津 山	片山 峰子
国塩 輝昭	萩原 一之	白井 省三	野上 賢二 横山 定子	森安 萌 瀬川 宏	宮脇 律 大熊 圭祐	(13) 岡 山	守屋千冬子
国塩 輝昭	萩原 一之	白井 省三	野上 賢二 横山 定子	森安 萌 瀬川 宏	宮脇 律 大熊 圭祐	(14) 玉 野	守屋千冬子
国塩 輝昭	萩原 一之	白井 省三	渡辺 武士 福岡トキコ	森安 萌 瀬川 宏	宮脇 律 山吹 堯敏	(15) 倉 敷	守屋千冬子
国塩 輝昭	萩原 一之	山吹 堯敏	渡辺 武士 福岡トキコ	黒住 郁雄 瀬川 宏	横野 昭輝 山吹 堯敏	(16) 津 山	守屋千冬子
岸田 崇	萩原 一之	佐伯 誠一	森川 鐵也 福岡トキコ	村田 重臣 白河左江子	西田 譲 服部 亮介	(17) 岡 山	安達 正恵
岸田 崇	松本 正志	藤本 善三	古川 正治 岡本 敏枝	岡島 将 白河左江子	西田 譲 服部 亮介	(18) 玉 野	安達 正恵
岸田 崇	松本 正志	竹井 千庫	田代 尚夫 岡本 敏枝	岡島 将 白河左江子	杉山 定雄 服部 亮介	(19) 倉 敷	青江 暉子
広本 勝裕	門野 茂蔵	田中 修二	長安早智子 藤田 真実	岡島 将 白河左江子	幾田 尚 川原 昇	(20) 津 山	青江 暉子
広本 勝裕	波多野研爾	田中 修二	森谷 浩平 藤田 真実	岡島 将 白河左江子	幾田 尚 川原 昇	(21) 岡 山	青江 暉子
広本 勝裕	田中 修二	石井 寛子	森谷 浩平 松浦 順子	岡島 将 坪井 敬也	坪井 克己 八木 和一	(22) 玉 野	青江 暉子
広本 勝裕	小山 輝基	阪田 俊介	森谷 浩平 岡崎 明宏	大月 要 坪井 敬也	皆木 徹典 若狭 真司	(23) 倉 敷	青江 暉子
広本 勝裕	小山 輝基	後藤 信介	長崎 幡子 島田 保弘	平岡嬉世子 岡田 敏雄	皆木 徹典 若狭 真司	(24) 津 山	青江 暉子
広本 勝裕	国富 浩二	畠岡 睦美	瀬川 宏 石川真佐代	白神 幸昌 岡田 敏雄 門田 正充	中野 宏 佐守 謙一	(25) 岡 山	守屋千冬子
広本 勝裕	田辺 宏海	国富 浩二	瀬川 宏 石川真佐代	赤木 久見 門田 正充	中野 宏 佐守 謙一	(26) 玉 野	守屋千冬子
藤井 洋一	田辺 宏海	福尾浩一郎	亀高 嘉彦 石川真佐代	赤木 久見 門田 正充 利守 雅行	中野 宏 佐守 謙一	(27) 倉 敷	佐藤 菊江
藤井 洋一	田辺 宏海	福尾浩一郎	亀高 嘉彦 石川真佐代	赤木 久見 門田 正充 利守 雅行	大山 晋右 佐守 謙一	(28) 津 山	佐藤 菊江
桑木 一郎	小山 秀樹	三掉 章弘	菱川 成雄 宮田あけみ	香川 璋子 原 清行	鴨頭 脩 森本 篤	(29) 岡 山	小野 暁子
桑木 一郎	小山 秀樹	三掉 章弘	菱川 成雄 宮田あけみ	香川 璋子 原 清行	鴨頭 脩 森本 篤	(30) 玉 野	小野 暁子
桑木 一郎	石井 美鶴	樋口 貴子	菱川 成雄 宮田あけみ	香川 璋子 利守 雅行 原 清行	川井 章三郎 尾崎 寛子	(31) 倉 敷	小野 暁子 鹿野 恵子
大滝 一登	石井 美鶴	樋口 貴子	菱川 成雄 宮田あけみ	綿谷 佳男 利守 雅行 原 清行	山根 健 細川 直子	(32) 津 山	鹿野 恵子
大滝 一登	有松 幹雄	行藤 潔	料治 育子 原野おり	綿谷 佳男 利守 雅行 海野 行晴	大嶋 俊宣 三宅 博己	(33) 岡 山	鹿野 恵子 岡本信二郎
大滝 一登	三宅 博己	深見 啓行	料治 育子 高橋おり	綿谷 佳男 利守 雅行 海野 行晴	大嶋 俊宣 深見 啓行	(34) 玉 野	岡本信二郎
大滝 一登	山内 邦世	(な し)	坪井由紀子 大亀 光子	綿谷 利守 有友 雅人	高槻 健 有本登貴子	(35) 倉 敷	岡本信二郎 宇原 郁世
大滝 一登	山内 邦世	(な し)	坪井由紀子 大亀 光子	綿谷 利守 有友 雅人	高槻 健 有本登貴子	研修会(倉敷)	宇原 郁世

西暦	年号	研鑽録	全国大会	中国大会	県大会	県大会講師	主要行事など	会 長	副 会 長
2006	18	43号	(35)郡山					山下 滋 (倉敷青陵)	岡本 利和 (御南中) 竹内 裕子 (可児小)
2007	19	44号		(25)岡山	(47)岡山	高畑 勲		永井 裕 (倉敷青陵)	河本 雅明 (建部中) 竹内 裕子 (可児小)
2008	20	45号	(36)熊本					高木二三男 (倉敷南)	木多 敏江 (御津中) 東馬 英子 (中山小)
2009	21	46号		(26)下関	(48)鏡野	今江 祥智		赤木 圭介 (倉敷南)	木多 敏江 (御津中) 東馬 英子 (中山小)
2010	22	47号	(37)静岡					坂江 誠 (倉敷天城)	山本 健五 (御津中) 岸 律子 (御南小)
2011	23	48号		(27)広島	(49)矢掛	赤木かみ子		岡野 貴司 (倉敷天城)	山本 健五 (御津中) 岸 律子 (御南小)
2012	24	49号	(38)米子					中桐 哲則 (玉島)	山本 健五 (御津中) 服部由利子 (古都小)
2013	25	50号		(28)浜田	(50)吉備中央	田澤 雄作		國府島貞司 (玉島)	大川 泰栄 (上道中) 服部由利子 (東嶺小)
2014	26	51号	(39)甲府					藤井 健平 (総社)	大塚 仁 (甲浦小) 藤井 隆 (上道中)
2015	27	52号		(29)倉敷	(51)倉敷	小嶋 光信		藤井 健平 (総社)	大塚 仁 (甲浦小) 藤井 隆 (上道中)
2016	28	53号	(40)神戸					福田 邦男 (倉敷中城地)	高田 恵子 (馬屋下小) 門田 正充 (岡輝中)
2017	29	54号		(30)米子	(52)津山	平田オリザ		福田 邦男 (倉敷中城地)	高田 恵子 (馬屋下小) 門田 正充 (岡輝中)
2018	30	55号	(41)富山高岡					土家 槇夫 (倉敷青陵)	山本 義人 (千種小) 藤井 隆 (高松中)
2019	1	56号		(31)山口	(53)岡山	村中李衣		高槻 信博 (倉敷青陵)	山本 義人 (千種小) 水畑 法生 (岡北中)
2020	2	57号						鳥越 信行 (倉敷南)	森 淳 (岡南小) 青木 伸晃 (櫛南中)

県教委担当者	事務局長	事務局次長	小 教 研	中 教 研	高 教 研	県司書大会	県司書部会長
大滝 一登 高尾 敏也	石本 正樹	(なし)	竹内 裕子 有松 裕子	岡本 利和 利和 雅行 有友 雅人	山下 滋 井上 裕子	(36) 岡 山	景山 美香 坂口 桂藏
高尾 敏也	石本 正樹	(なし)	竹内 裕子 有松 裕子	河本 雅明 利和 雅行 有友 雅人	永井 裕 井上 裕子	研修会 (津山)	坂口 桂藏
高尾 敏也 武田 裕江	志部 雄介	(なし)	東馬 英子 丸橋 弘子	木多 敏江 有友 雅人 利和 雅行	高木 二三男 藤田 京子	(37) 倉 敷	坂口 桂藏 池田 桂子
武田 裕江 田中 善美	永山 整	(なし)	東馬 英子 丸橋 弘子	木多 敏江 有友 雅人 利和 雅行	赤木 圭介 藤田 京子	研修会 (玉野)	池田 桂子
武田 裕江 田中 善美	佐藤 敦子	(なし)	岸 律子 安藤 弘子	山本 健五 宗實 利和 利和 雅行	坂江 誠 小野 恭子	(38) 岡 山	池田 桂子 二宮野陽子
乙倉 寛 藤本真砂子	佐藤 敦子	(なし)	岸 律子 安藤 弘子	山本 健五 宗實 利和 利和 雅行	岡野 貴司 小野 恭子	研修会 (岡山)	二宮野陽子
乙倉 寛 石本康一郎	佐藤 俊英	(なし)	服部由利子 二宮 典子	山本 健五 宗實 利和 利和 雅行	中桐 哲則 尾崎 寛子	(39) 倉 敷	二宮野陽子 米倉 弥生
乙倉 寛 藤本真砂子	佐藤 俊英	(なし)	服部由利子 二宮 典子	大川 泰榮 宗實 利和 利和 雅行	國府島 貞司 尾崎 寛子	研修会 (津山)	米倉 弥生
辻田 詔子 須藤由美江	大野 里江子	(なし)	大塚 仁 中村さつき 小川 薫	藤井 隆 岡田恵利子 利和 雅行	藤井 健平 柳井 典子	(40) 岡 山	米倉 弥生 原 弘江
森川 悟 新田 治彦	大野 里江子	(なし)	大塚 仁 中村さつき 小川 薫	藤井 隆 永守 志帆 金田 益美	藤井 健平 柳井 典子	研修会 (玉野)	原 弘江
岡本 里香 三宅 健夫	末吉 美加子	(なし)	高田 恵子 山根 和佳子 勝浦 由子	門田 正充 永守 志帆 金田 益美	福田 邦男 児島 真理子	(41) 倉 敷	原 弘江 西村 百代
岡本 里香 江尻 寛正	末吉 美加子	(なし)	高田 恵子 山根 和佳子 勝浦 由子	門田 正充 仁科 恵子 佐伯 詩帆	福田 邦男 太田 淳	研修会 (倉敷)	西村 百代
岡本 里香 江尻 寛正	王尾 宏造	(なし)	山本 義人 太田 淑子 酒本 薫	藤井 隆 仁科 恵子 佐伯 詩帆	土家 横夫 大口 千恵子	(42) 岡 山	西村 百代 成本 由貴
丹原 知哉 江尻 寛正	王尾 宏造	(なし)	山本 義人 太田 淑子 酒本 薫	水畑 法生 笹野 恭代 海野 行晴	高槻 信博 大口 千恵子	(43) 岡 山	成本 由貴
丹原 知哉 江尻 寛正	平松 玲子	(なし)	森 淳 早川 夕加哩 武田 綾子	青木 伸晃 笹野 恭代 海野 行晴	鳥越 信行 高橋 綾美		成本 由貴 大橋 昭子

岡山県学校図書館研究集録（第 57 号）

発 行 日 2021 年 3 月 31 日

発 行 所 岡山県学校図書館協議会事務局
 〒710-0842
 岡山県倉敷市吉岡 330
 岡山県立倉敷南高等学校内
 TEL (086) 423-0600

発行責任者 岡山県学校図書館協議会会長
 鳥越 信行